

診療科のご案内

旭川赤十字病院

Asahikawa Red Cross Hospital

2024年



Contents

ご挨拶

診療科のご紹介

糖尿病・内分泌内科	4	小児科	54
呼吸器内科	7	皮膚科	57
消化器内科	9	眼科	59
循環器内科	13	産婦人科	61
腎臓内科	15	歯科口腔外科	62
血液・腫瘍内科	18	放射線科	65
脳神経内科	19	地域連携科	66
総合診療科	21	病理診断科	67
外科	22	麻酔科	69
呼吸器外科	29	救命救急センター	70
脳神経外科	32		
整形外科	37		
形成外科	40		
心臓血管外科	45		
泌尿器科	47		
耳鼻咽喉科	50		

旭川赤十字病院ホットラインのご案内	71
診療予約手順について	72
患者（家族）からのTEL予約について	74
医療機器の共同利用について	77
開放病床について	83
たいせつ安心i医療ネットのご案内	84
医療支援センターのご案内	85
公式SNSの紹介	87

ご挨拶



旭川赤十字病院 院長 牧野 憲一

旭川赤十字病院は1915年、札幌にて誕生しましたが旭川の医療提供体制を充実させるため1923年に旭川に移転しました。それから100年が過ぎました。現在では、救急医療と高度急性期医療において道北地区の中心的な基幹病院として地域医療を支えています。旭川赤十字病院の診療の基本姿勢は地域の医療機関と共に患者さんを診ていくことです。2004年に地域医療支援病院の指定を受けその姿勢を明確にしました。2008年には当院の電子カルテ情報をインターネット経由で参照できる旭川クロスネット（現在のたいせつ安心医療ネット）の運用を開始し地域の医療機関への最大限の情報提供を継続しています。また、旭川赤十字病院では地域の診療所の先生と一緒に患者さんを診ていくという姿勢を明確にするため入院時には必ず“かかりつけ医”を確認しています。そして“かかりつけ医”に入院したことの通知、退院したことの通知に加えて退院サマリーをお送りしています。さらに、患者さんの紹介を頂きやすくするために医療機関からのFAX予約に加えて、一部診療科ではありますが患者さん自身からの予約を可能としています。今後はこの診療科を拡大していく予定です。

旭川赤十字病院は救急医療においては道北地区の最後の砦としての役割を果たしていますが、がん診療などの通常診療においても高いレベルの診療を行っています。2022年に導入したダビンチ手術は泌尿器科、消化器外科、呼吸器外科にて順調に症例を重ねております。外科では道北地区で唯一の肥満に対する手術治療を行って良好な成績を上げています。外科では乳腺外来を開始しましたが、形成外科と協力して乳房再建にも積極的に取り組んでいます。また脳神経内科では認知症治療薬「レカネマブ」治療も開始しています。来年には高齢者の心不全に対応するための心不全のリハビリ治療もスタートします。

旭川赤十字病院はこれからも地域の医療機関と共に、道北地区の人々の健康を守るべく取り組んで参ります。今後とも宜しくお願い致します。

診療科の概要

当科では、主に糖尿病、内分泌疾患、脂質異常症、肥満などを診療しています。現在6名の医師で、外来と病棟を担当しています。病棟では自科の患者さんだけではなく、手術や救急入院を含む他科入院患者さんの血糖管理も数多く担当しています。

治療方針

糖尿病は早期診断、早期治療をすることで、糖尿病関連の合併症を予防できます。さらに今では糖尿病が寛解する人も多く見られます。そのために経口血糖降下薬、インスリン、GLP-1などから一人一人の病気の性質や、生活に合わせて選択・調整しています。

連続血糖モニタリング（CGM）による詳細な血糖日内変動を確認するために、Freestyle リブレ2やDexcomG7など最新のリアルタイムCGMも積極的に導入しています。1型糖尿病患者さんではインスリンポンプによる持続インスリン皮下注射療法（CSII）や、CSIIとCGMを組み合わせたSAP療法も行っています。

糖尿病多職種チーム医療では、糖尿病認定看護師2名、糖尿病に関わる特定行為看護師3名、糖尿病療養指導士が16名と数多くのスタッフが取得しており、糖尿病患者さんの治療サポートや相談を担当しています。食事や運動の方法、インスリン注射方法や自己血糖測定器の扱い方、飲み薬の注意点、フットケアなどを、それぞれの専門的立場から指導に当たっています。

「糖尿病地域連携パス」を推進しており、かかりつけ医療機関と連携して、通常はかかりつけ医で糖尿病の治療を続け、定期的な合併症のチェックや糖尿病治療の見直しなどのために半年から1年に1回当科を受診してもらっています。現在は連携パスで約100名をフォロー中です。

甲状腺、下垂体、副腎などの内分泌疾患や、脂質異常症や高尿酸血症の精査・治療も行っております。

外科と共に「減量サポート・外科治療センター」を立ち上げており、高度肥満の専門的な精査、治療も行っております。減量手術に向けた術前後の内科的サポートと、新たな肥満治療薬を用いた内科的治療を行うことも可能です。

診療実績（2023年1～12月）

項目	患者数
外来新患数	527
外来延数	23,607
新入院数	249

当院で使用可能な最新のリアルタイムCGM



Freestyleリブレ2

DexcomG7

ミニメド770G
(インスリンポンプ+CGM)

医師紹介

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
あびこ あつこ 安孫子 亜津子	副院長 部長	専門分野 ：糖尿病、内分泌、総合内科 医学博士 日本内科学会認定医・総合内科専門医・研修指導医 日本糖尿病学会専門医・研修指導医・学術評議員 内分泌代謝・糖尿病内科領域専門研修暫定指導医 日本糖尿病・妊娠学会評議員 日本糖尿病協会糖尿病認定医 旭川地区糖尿病地域連携協議会代表世話人 旭川医科大学臨床指導教授 NST専任医師 日本専門医機構 総合診療専門研修特任指導医 日本病院会病院総合医 日本糖尿病対策推進会議 日本糖尿病学会地区担当委員北海道副代表	平成4年
つじ けん 辻 賢	副部長	専門分野 ：糖尿病 日本内科学会認定内科医 日本糖尿病学会専門医 日本糖尿病協会糖尿病認定医	平成15年
やまがた ひろき 山縣 弘規	医師	専門分野 ：糖尿病 医学博士	平成31年
やまがた ふみか 山縣 二美可	医師	専門分野 ：糖尿病・内分泌内科	令和3年

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
はせがわ ゆみか 長谷川 弓華	医師	専門分野：糖尿病、内分泌	令和4年
どいた きみこ 土井田 貴美子	医師	専門分野：糖尿病、内分泌代謝内科 日本内科学会内科専門医 内分泌代謝・糖尿病内科領域専門医	平成29年

診療予定表 (初診：9：00～11：00)

	月	火	水	木	金
内分泌外来	山縣 弘規	安孫子	辻	山縣 弘規	長谷川
糖尿病外来1	安孫子	長谷川		土井田	辻
糖尿病外来2	辻		山縣 弘規	安孫子	安孫子

診療部長よりひとこと

糖尿病診断早期の病態評価から、急に血糖が悪化した患者さん、血糖コントロールが難しい患者さん、周術期管理、合併症が進行してきた患者さんなど、幅広くご相談をお受けいたします。ぜひお気軽にご連絡ください。ダブル主治医制で共に患者さんのフォローができればと思っており、逆紹介時には糖尿病地域連携パスをお願いすることがありますので、よろしくお願いいたします。



診療科の概要

呼吸器内科は現在3名の医師で診療に当たっており、主に肺がん、間質性肺炎などの呼吸器疾患、肺炎などの呼吸器感染症、気管支喘息をはじめとしたアレルギー性肺疾患の診療を行っています。日本呼吸器学会関連施設として、呼吸器内科領域において専門性が不可欠な疾患を中心に診療を行っています。

治療内容

- (1) 腫瘍疾患：肺がん、悪性胸膜中皮腫、縦隔腫瘍、良性腫瘍など
- (2) 感染性疾患：重症呼吸器感染症（肺炎、胸膜炎、膿胸、肺化膿症）
- (3) びまん性肺疾患：間質性肺炎、膠原病肺、過敏性肺炎、サルコイドーシスなど
- (4) 気道疾患：気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、慢性気管支炎など

診療実績

	2021年度
一日平均外来患者数	33.7人
一日平均入院患者数	30.8人
年間入院患者延数	11,238人
平均在院日数	12.7日
気管支鏡検査件数	261件
EBUS-TBNA件数	56件
胸腔鏡件数	6件

医師紹介

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
すどう ゆうた 須藤 悠太	部長	専門分野 ：肺癌、COPD、間質性肺炎、肺高血圧症 日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本呼吸器学会呼吸器専門医・指導医 ICD（インфекションコントロールドクター） 緩和ケア研修終了 札幌医科大学医学部臨床講師	平成20年
いとう なつみ 伊東 菜亜美	医師	専門分野 ：呼吸器内科	平成31年
よこやま あきひろ 横山 陽大	医師	専門分野 ：呼吸器内科	令和4年

診療予定表 (初診：8：00～11：00)

	月	火	水	木	金
診察1	須藤	横山	伊東	須藤	伊東
診察2 (新患)	休診	伊東	須藤	横山	横山

診療部長よりひとこと

呼吸器疾患は感染症をはじめ多岐に渡りますが、高齢化に伴い当院に紹介される肺癌患者は年々増加してきております。気管支鏡検査数は年々増加しており、昨年度の検査数は数年前の倍以上となっています。道北地方で肺癌診療を行う施設は限られており、当院には稚内や留萌など遠方の都市から紹介される患者様も多数いらっしゃいます。最近の肺癌治療は個別化医療が加速しており、治療を行う際には遺伝子解析を行い、患者個人に最適な治療を選択できるようになってきております。また個別化治療に伴い、長期生存される方も多くなる一方で治療法は複雑化してきております。旭川という地方都市ではありますが、最先端の治療を提供できるように日々の研鑽は怠らないように心がけております。

診療科の概要

当院の消化器内科は現在11名の医師で診療に当たっており、日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設、日本消化器病学会認定施設、日本肝臓学会認定指導施設、日本膵臓学会認定指導施設として上下部消化管疾患・肝臓疾患・胆膵疾患など対象は消化器疾患全般に及んでおり、幅広い専門的医療を担当すると共に、朝・夕の病棟回診も欠かさず施行し、円滑な医師・患者関係の確立とわかり易い病状説明に努めています。さらには外科・病理科・放射線科など関連する各科との密接な協力関係のもとで診療にあたっています。

対象疾患

食道の疾患：逆流性食道炎、食道潰瘍、食道癌、食道裂孔ヘルニアなど

胃の疾患：胃炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃ポリープ、ヘリコバクター・ピロリ感染症、慢性胃炎、機能性ディスペプシア、胃癌など

大腸・小腸の疾患：大腸癌、腸閉塞、虫垂炎、食中毒、O-157、潰瘍性大腸炎、過敏性腸症候群、虚血性腸炎、出血性大腸炎、大腸憩室症など

肝臓の疾患：脂肪肝、急性肝炎、B型慢性肝炎、C型慢性肝炎、肝硬変、肝癌、非アルコール性脂肪性肝炎、原発性胆汁性肝硬変、自己免疫性肝炎など

膵臓の疾患：急性膵炎、慢性膵炎、膵癌など

胆道系の疾患：胆のう結石症、胆のうポリープ、急性胆のう炎、慢性胆のう炎、胆のう癌、胆管癌、総胆管結石など

医師紹介

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
ふじい つねし 藤井 常志	院長補佐 部長	専門分野 ：消化器疾患、胆・膵疾患 医学博士 日本内科学会認定医・指導医 日本消化器病学会専門医・指導医・評議員 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医・評議員 日本超音波学会専門医・指導医 日本消化器がん検診学会認定医・指導医 旭川医科大学臨床指導教授 日本肝臓学会専門医 日本ヘリコバクター学会認定医 日本消化器がん検診学会総合認定医 日本内科学会総合内科専門医 日本膵臓学会指導医 日本がん治療認定医機構・がん治療認定医	平成元年

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
あべ まさみ 阿部 真美	部長	専門分野 ：内科、消化器病、肝臓病 内科学会認定医 消化器病学会専門医 肝臓学会専門医 総合内科専門医 内視鏡学会専門医・指導医	平成13年
いしかわ ちさと 石川 千里	部長	専門分野 ：消化器内科 認定内科医 医学博士 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医 難病指定医 臨床研修指導医	平成14年
ももい たまき 桃井 環	副部長	専門分野 ：消化器内科 日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 日本膵臓学会認定指導医 日本医師会認定産業医	平成15年
ふじばやし しゅうご 藤林 周吾	副部長	専門分野 ：消化器内科、胆・膵疾患 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓学会専門医 医学博士 難病指定医 臨床研修指導医	平成20年
さいとう あつし 齋藤 敦	医師	専門分野 ：消化器内科 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医	平成24年

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
くろだ しょうへい 黒田 祥平	医 師	専門分野：消化器内科	平成30年
しゅくだ こうのすけ 宿田 耕之介	医 師	専門分野：消化器内科 日本内科学会内科専門医	平成30年
わたなべ ひろむ 渡邊 啓夢	医 師	専門分野：消化器内科	平成31年
よしだ まなみ 吉田 愛澄	医 師		令和4年
はせべ ちとみ 長谷部 千登美	医 師	専門分野：肝臓内科、消化器内科 医学博士 日本内科学会総合内科専門医 日本肝臓学会専門医・指導医 日本肝臓学会東部会評議員 日本消化器病学会専門医・指導医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医・評議員 日本高齢消化器病学会理事 日本プライマリケア学会認定医・指導医	昭和55年

診療実績（2023年1～12月）

項目	患者数
外来新患数	1,598
外来延数	20,812
新入院数	2,101

主な手術実績（2023年1～12月）

項目	件数
創傷処理	16
皮膚切開	1
食道狭窄拡張術	1
食道ステント留置術	4
内視鏡的食道粘膜切除術	5
食道・胃静脈瘤硬化療法	9
内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術	24
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置	116
血管塞栓術	2
中心静脈注射用植込型カテーテル設置	2
経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	1
内視鏡的胃、十二指腸ステント留置術	6
内視鏡的胃ポリリーブ・粘膜切除術	50
内視鏡的十二指腸ポリリーブ・粘膜切除術	1
内視鏡的食道及び胃内異物摘出術	22
内視鏡的胃、十二指腸狭窄拡張術	1
内視鏡的消化管止血術	198

項目	件数
胃瘻造設術	24
胃瘻拔去術	2
経皮的胆管ドレナージ術	30
内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術（ENBD）	110
超音波内視鏡下瘻孔形成術（腹腔内膿瘍に対するもの）	3
内視鏡的胆道結石除去術	279
内視鏡的乳頭切開術	244
内視鏡的胆道ステント留置術	266
経皮的肝膿瘍ドレナージ術	13
脾結石手術（経十二指腸乳頭による）	1
内視鏡的膵管ステント留置術	34
内視鏡的大腸粘膜切除術	423
内視鏡的大腸ポリリーブ切除術	41
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	31
小腸結腸内視鏡的止血術	30
小腸狭窄部拡張術	1
下部消化管ステント留置術	12

診療予定表（初診：8：00～11：00）

	月	火	水	木	金
新患	藤井	石川	藤井	齋藤	桃井
肝臓外来	阿部	長谷部	阿部	長谷部	宿田
再診1	藤林	齋藤	桃井	藤井	石川
再診2	渡邊	藤林	黒田 (PEG外来)	黒田	藤井

診療部長よりひとこと

断らない診療理念の基に消化器救急疾患に迅速に対応致します。お気軽にご相談ください。

診療予定表

(初診：8：00～11：00)

	月	火	水	木	金
診察1	岸上	岸上	井門	印 鑰	印 鑰
診察2	井門	飛澤	飛澤	飛澤	鎌田
診察3	戸田		鎌田	戸田	
新 患	戸田	岸上	井門	印 鑰	鎌田

* 第2・4金曜日午後：ペースメーカー外来

診療部長よりひとこと

この度、令和4年4月1日より循環器内科部長を拝命いたしました、循環器内科の飛澤 利之と申します。

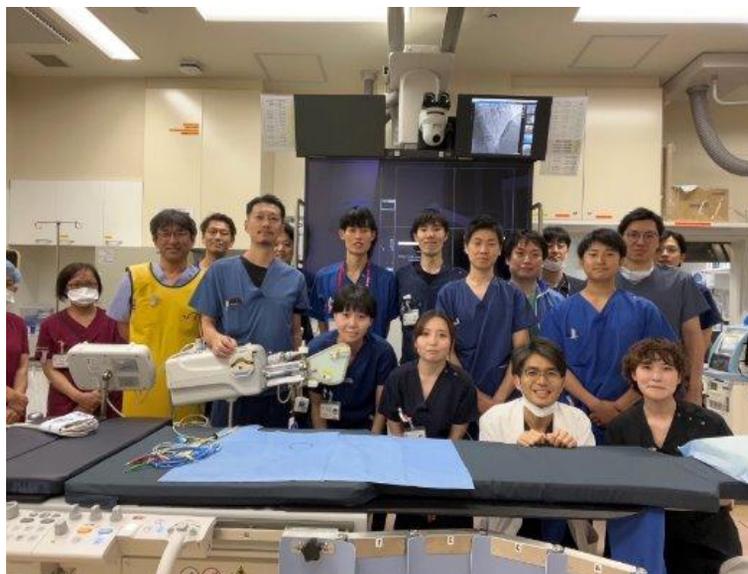
私はこれまで、札幌医科大学付属病院、札幌医科大学大学院、また、道内関連病院勤務を経て、令和元年に当院へ赴任させていただきました。

昨今の高齢化社会を反映し、心不全パンデミックと称されるように心不全をはじめとした循環器領域疾患患者数は年々増加の一途をたどっており、我々循環器内科医の守備範囲は日々広がっております。このような中で、当科では心不全を中心とした様々な疾患に対する薬物療法、非薬物療法(カテーテルインターベンション等)に加え、心不全管理において重要な心臓リハビリテーションにも力を入れております。

このコロナ禍の影響で現状はなかなか進んでおりませんが、院内の設備・環境を徐々に整え、今後は入院のみならず外来リハビリテーションも充実させていく予定です。

また、当院は道北ドクターヘリ事業を運用する3次救急を担う高度救命救急センターを併設しております。よって、急性冠症候群に対するprimary PCIをはじめとした、循環器救急への対応も重要な責務と考えております。

まだまだ若輩者で経験も浅く、ご迷惑をおかけすることが多々あるとは存じますが、新しく生まれ変わった新生循環器内科として、これまで以上に皆様に信頼されるよう頑張りますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。



診療科の概要

当科では腎疾患の早期診断に積極的に取り組み、早期腎炎から慢性腎臓病、末期腎不全・透析管理に至るまでの総合的治療・管理を行っています。

また当院は高度救命センターを有する急性期病院でもあることから、急性血液浄化療法を必要とする患者様に対しても、院内各科と連携をとりながら集学的治療を行っています。

診療内容

腎炎・ネフローゼ

腎炎・ネフローゼ症候群が疑われる患者様には積極的に腎生検を施行し、臨床所見と病理組織学的診断を合わせて治療方針を決定しています。必要があると判断された場合には、ステロイド剤や免疫抑制剤、血漿交換療法等による治療を行います。

また慢性腎炎の中でもっとも多いIgA腎症では、腎生検の結果をふまえ「扁桃腺摘出術とステロイド療法」を施行し、血尿・蛋白尿の減少や消失というような良好な治療成績をおさめています。

慢性腎臓病（CKD）

慢性腎臓病の診療は主に進行の抑制に重点を置いており、薬物療法・食事療法に積極的に取り組んでいます。さらに腎臓病に合併する心血管疾患の予防や治療を行っています。慢性腎臓病を初めて指摘された方や自宅での管理に不安をお持ちの患者様には、教育・治療のための入院を勧めています。腎機能悪化を抑制し、生命予後を改善する効果のある薬も増えてきています。投薬管理と生活指導を組み合わせることで腎機能が少しでも長く温存でき透析導入を抑制できるよう日々努力しています。

末期腎不全

治療を行っても残念ながら末期腎不全に近付いてきた患者様には、腎代替療法が必要となります。腎代替療法には血液透析、腹膜透析、腎移植があり、当院では血液透析と腹膜透析を実施しています。患者様のご希望やQOLを十分に考慮したうえで治療法を選択していただき、準備から導入までを行っています。

透析センター

当院透析センターは慢性腎不全の患者様の血液透析療法、腹膜透析療法を中心に、神経疾患や自己免疫疾患等のために血漿交換療法や免疫吸着療法等あらゆる血液浄化を必要とする患者様に対して治療を行っております。

現在月水金、火木土いずれも午前(9:00~14:00)、午後(14:00~19:00)の2クールで行っております。

また当院は当地区のセンター病院の1つであることから、24時間いつでも緊急時の血液浄化に対応できるように体制を整えております。

医師紹介

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
こばやし ひろのり 小林 広学	院長補佐 部長	専門分野 ：透析患者に対する循環器合併症管理・治療、バスキュラーアクセス（シャント）不全に対するバルーン治療、心不全・電解質・貧血管理、腹膜透析管理、腹膜透析カテーテルトラブルに対する管理・治療 医学博士 日本内科学会総合内科専門医、指導医 日本腎臓学会腎臓専門医、指導医 日本透析医学会専門医、指導医 日本循環器学会専門医 日本腹膜透析医学会認定医、評議員 日本腎・血液浄化AI学会評議員 日本透析医学会VA血管内治療認定医 日本透析アクセス医学会VA血管内治療認定医 透析バスキュラーアクセスインターベンション治療医学会VAIVT認定専門医 腎代替療法専門指導士 日本医師会認定産業医 NPO法人日本腎臓病協会慢性腎臓病対策部会 北海道ブロック地区幹事 旭川医科大学臨床指導教授 札幌医科大学臨床指導教授	平成11年
あだち あきら 安達 昭	医師	専門分野 ：腎臓内科 外科専門医 医学博士	平成6年
みやもり たいすけ 宮森 大輔	医師	専門分野 ：腎臓 内科認定医 腎臓内科専門医 透析専門医	平成27年
やまだ かずき 山田 一紀	医師	専門分野 ：腎臓内科、血液透析、腹膜透析 内科専門医 日本医師会認定産業医 ICLSインストラクター JMECCインストラクター	平成30年
えんどう こうた 遠藤 康太	医師	専門分野 ：循環器・腎臓	平成31年

腎臓内科 診療時間 (初診：8：00～11：00)

月	火	水	木	金
宮森	小林	山田	小林	遠藤

透析室

	月	火	水	木	金
午前：PD外来			小林	宮森/山田	
午後：PD外来				小林	
午後：HD外来	小林	小林		小林/宮森	

診療部長よりひとこと

広い道北地域においても腎臓内科を標榜している施設は少ないのが現状です。専門的治療知識のアップデートを日々努力し、地域連携施設と良好な関係を築きながらレベルの高い腎臓病医療を地域住民の皆様にご提供できますよう、頑張っていきたいと思っております。

診療実績 (2023年1～12月)

項目	患者数
外来新患数	406
外来延数	21,176
新入院数	566

主な手術実績 (2023年1～12月)

手術	2023
創傷処理	14
皮膚切開	1
PDカテーテル出口部変更術	6
PDカテーテル抜去術	11
体外ペースメーカー術	1
末梢動静脈瘻造設術 (内シャント造設術)	69
四肢の血栓除去術	1
経皮的シャント拡張術・血栓除去術	117
連続携行式腹膜灌流用カテーテル腹腔内留置術	22
合計	242

診療科の概要

当科の診療内容は造血器腫瘍を主とした各種血液疾患の診療です。白血病、骨髄異形成症候群、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの悪性疾患や、特発性血小板減少性紫斑病、再生不良性貧血、溶血性貧血と言った難病指定疾患を含む幅広い疾患の治療に取り組んでいます。

血液の領域では道内でも数少ない骨髄バンク・臍帯血バンク認定施設として、年間約10～20例の造血幹細胞移植を実施しており、全国でもトップレベルの良好な成績をおさめています。また、日々めざましく進歩する分子標的治療、免疫療法、分化誘導療法など各分野の最新の治療を幅広く取り入れ、常に最先端の医療を提供できるよう日々努力しています。

医師紹介

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
こぬま ゆういち 小沼 祐一	部長	専門分野 ：血液疾患一般、造血幹細胞移植 日本血液学会認定血液専門医・指導医 日本造血細胞移植学会造血細胞移植認定医 日本内科学会認定内科医 札幌医科大学臨床教授	平成8年
さかい としろう 酒井 俊郎	部長	専門分野 ：血液疾患一般、造血幹細胞移植 日本造血細胞移植学会造血細胞移植認定医 日本血液学会認定血液専門医・指導医 日本内科学会認定内科医	平成14年
わたなべ らん 渡辺 蘭	医師	専門分野 ：血液疾患一般、造血幹細胞移植	令和3年
ゆきたか きょうこ 幸高 響子	医師		令和4年

外来担当医

(初診：8：00～11：00)

月	火	水	木	金
小沼	渡辺	休診	酒井	幸高

診療実績（2023年1～12月）

項目	患者数
外来新患数	376
外来延数	5,578
新入院数	635

対象疾患

1. 脳の病気

脳血管障害、髄膜炎、脳炎、パーキンソン病、パーキンソン症候群、脊髄小脳変性症、多発性硬化症、神経ベーチェット病、ハンチントン舞蹈病、頭痛、認知症、てんかん、不随意運動（振戦など）、脳腫瘍、脳膿瘍、慢性硬膜下血腫、脳性麻痺、正常圧水頭症、脳脊髄液減少症

2. 脊髄の病気

（視神経）脊髄炎、頸部脊髄症、頸部脊椎間板ヘルニア、後縦靭帯骨化症、脊髄空洞症、筋萎縮性側索硬化症、スモン、家族性痙性対麻痺、HAM、亜急性連合性脊髄変性症、脊髄腫瘍、脊髄血管障害

3. 末梢神経の病気

多発神経炎、単神経炎、多発性単神経炎、絞扼性末梢神経障害、顔面神経麻痺、三叉神経痛、肋間神経痛、坐骨神経痛、ギラン・バレー症候群、CIDP、ライム病、顔面攣縮、中毒性ニューロパチー（砒素、薬物）、代謝性ニューロパチー（糖尿病、尿毒症栄養障害ニューロパチー（アルコール、脚気、ペラグラ）、癌性ニューロパチー、シャルコー・マリー・トゥース病

4. 筋肉の病気

筋ジストロフィー、多発筋炎、免疫介在性壊死性ミオパチー、封入体筋炎、重症筋無力症、ミトコンドリアミオパチー、遠位型ミオパチー、代謝性ミオパチー、内分泌障害によるミオパチー、先天性ミオパチー、筋強直症候群、周期性四肢麻痺

医師紹介

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
うら しばひさ 浦 茂久	院長補佐 部長	専門分野： 神経疾患全般 日本神経学会専門医・指導医（代議員） 日本内科学会総合内科専門医 プライマリ・ケア認定医 日本神経治療学会（評議員） 北海道大学医学部医学科臨床指導教授 日本認知症学会専門医 日本神経感染症学会評議員	平成8年
わきた まさひろ 脇田 雅大		専門分野： 脳神経内科 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・内科指導医 日本神経学会神経内科専門医 日本神経免疫学会神経免疫診療認定医	平成25年
いしかわ かえで 石川 楓	医師	専門分野： 神経内科	令和2年
みやぎし まい 宮岸 麻衣	医師	専門分野： 神経内科	令和4年

診療予定表

初診 8:00~12:00

	月	火	水	木	金
初診	浦	脇田	宮岸	脇田	石川
再診	石川	浦	浦	浦	脇田
		(奇数週)		宮岸	
物忘れ外来					浦
高次脳機能 障害外来	大槻（出張医） 第4月曜日13:30~	大槻（出張医） 第4火曜日8:30~12:00			

診療部長よりひとこと

旭川を含めた道北地方はもとより、空知地方やオホーツク地方も一部含めた脳神経内科拠点病院として24時間体制で患者を受け入れており、神経学会専門医を含めたおよそ4名体制で診療を行なっております。

パーキンソン病を含めた神経難病に対しては全ての薬物治療が可能でありデバイス療法としてL-ドパ持続経腸療法や北大と連携し手術療法も可能であります。神経難病や筋ジストロフィーなどの疾患に対しては短期集中リハビリ療法も行っております。また、神経難病のみならず頭痛、てんかん、認知症、脳梗塞などのcommon diseaseにも全て対応可能です。認知症に関しては週1回の認知症専門医による完全予約制の物忘れ外来も行なっております。また、レケンビも投与可能な施設となっております。自己免疫疾患に関しては血漿交換療法や大量γグロブリン療法も可能で、緊急対応も可能です。神経内科領域の治療は日進月歩で進化しており極力新規医薬品や治療法も導入に勤めております。ボトックス治療も行なっています。近年、開発が盛んな核酸医薬や生物学的製剤、分子標的薬なども随時導入し、使用可能です。

地域の神経内科医、他科の医師や訪問看護師、ソーシャルワーカー、保健師、薬剤師、リハビリテーションスタッフとも連携し定期的にカンファレンスや研究会、勉強会も開催しており交流を深めるように勤めております。当院のみで対応困難と判断した場合や患者さんの希望がございましたら北大や札幌市内の病院ともセカンドオピニオンなどの連携も行なっております。

何か疑問点やご不明点などございましたら電話対応も可能ですので気軽にお問い合わせ下さい。

診療科の概要

2024年度、総合診療科の体制が新しくなりました。

月・水・木曜日は糖尿病・内分泌内科医師、火曜日は健診センター医師、金曜日は腎臓内科医師の内科系3科で主に診療を行っています。専門診療科がはっきりしない症例に対し、幅広い内科的知識を基本として、初期対応、鑑別診断を行うことを目的に診療を行っており、入院が必要な場合にも対応が可能となりました。

基本的には地域連携室を通して事前予約をしていただいておりますが、紹介状がございましたら、予約がなくても診察は可能です。お急ぎの症例、予約日が決まらない症例などは、予約なしで午前中に受付をしていただければと思います。

また、これまで地域連携ホットラインは救急外来で受けていましたが、2024年4月から救急疾患以外のホットラインは8時30分から17時まで総合診療科医師に繋がります。診療科選択にお困りの症例などがございましたら、ぜひご相談いただければと思います。

各曜日の担当科

初診 (8:00~13:00) 診察は9時から開始

月	火	水	木	金
糖尿病・内分泌内科	健診センター	休診	糖尿病・内分泌内科	腎臓内科

主な診療内容

- ・専門診療科がわからない症状や疾患
- ・流行時の感染症対応 (コロナ、インフルエンザなど)
- ・各種ワクチン (木曜午後・金曜午後 予約制)
- ・地域連携ホットラインPHS対応 (8:30~17:00)

地域連携ホットライン 080-5595-9191

以下の場合にご利用ください。 《 対応時間 平日 8 : 30 ~ 17 : 00 》

- 救急ではないが、早く紹介したい
※救急を要する場合は救命救急ホットラインへお願いします
- どの診療科に紹介してよいかわからない
- その他 (患者紹介のことで相談したい等)

※救命救急センター医師が対応する「救急ホットライン」とは異なります。

診療科の概要

当科は常勤医師7人で消化器疾患全般から乳腺疾患に対する外科治療を広く行っています。各関連学会指導医・専門医が複数名在籍しており、診療の質・手術の質の向上に努めています。

当科では低侵襲なロボット支援下手術、腹腔鏡下手術を積極的に導入しております。救命救急センターで緊急手術を必要と診断された方に対する緊急手術についても365日24時間体制で対応しています。

対象疾患

《胃 癌》

2021年の胃癌切除症例は約40例でした。そのうち約8割の胃癌に対し低侵襲な腹腔鏡下手術で手術を行っています。また、可能な限り胃全摘は回避し、根治性は担保しつつ、機能温存を目的とした幽門側胃切除や噴門側胃切除を積極的に行っています。

《大腸癌》

2021年の大腸癌切除症例は約120例でした。現在、約7割の大腸癌に対し、最新鋭機であるダヴィンチXi (da Vinci Xi surgical system) によるロボット支援下手術を行い、それ以外も腹腔鏡手術を多く行っています。直腸癌に対しては可能な限り肛門を温存する手術を採用し、最新術式であるtaTME (Transanal total mesorectal exision1: 経肛門的直腸間膜切除術) も導入し、根治性、肛門温存率の向上を心がけています。

《食道癌》

胸腔鏡・腹腔鏡下に手術を行います。胸部と腹部の両方の操作が必要な負担の大きい手術ですが、胸腔鏡・腹腔鏡下に行うことで痛みが少なく、呼吸機能が温存され、早期の社会復帰が可能です。

《鼠経ヘルニア》

多くの症例に対し腹腔鏡下手術で行っています。痛みが少なく、早期退院が可能です。

《肝胆膵疾患》

胆石から高難度の膵頭十二指腸切除まで幅広く対応しています。

《乳 癌》

化学療法から手術まで一貫して治療を行います。乳房温存手術を積極的に行っています。乳房全摘後の乳房再建（一次再建、同時再建/二次再建）も当院形成外科で行っています。

《減量手術》

腹腔鏡下手術を行います。糖尿病や高脂血症、高血圧、睡眠時無呼吸症候群等の肥満関連疾患が改善します。減量サポート・外科治療センターを開設し、多職種が関わり、治療成績の向上を目指しています。

医師紹介

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
まなせ ひろと 真名瀬 博人	副院長 部長	専門分野 ：消化器外科、一般外科、乳腺外科 精中委マンモグラフィ読影医 日本外科学会専門医 医学博士 日本消化器外科学会認定医 旭川医科大学臨床教授 産業医科大学産業医 病院総合医 乳腺認定医 北海道大学客員准教授 総合診療専門研修特任指導医	平成元年
いちむら たつのすけ 市村 龍之助	部長	専門分野 ：消化器外科、内視鏡外科、一般外科 特に胃、 大腸癌手術、内視鏡手術、大腸癌化学療法、 肛門痔疾患の診察・治療（内痔核に対する四段階硬化療法など） 医学博士 日本外科学会認定医、専門医、指導医 日本消化器外科学会専門医、指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 インфекションコントロールドクター （ICD）（日本外科感染症学会） 日本DMAT 北海道DMAT 精中委マンモグラフィ読影医 Certificate of da Vinci System Training As Console Surgeon 旭川医科大学臨床指導教授 北海道大学医学部医学科臨床指導教授	平成7年

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
しょうじ やすひと 東海林 安人	副部長	専門分野 ：消化器外科、内視鏡外科、救急・外傷外科、 乳腺外科 医学博士 日本外科学会指導医・専門医・認定医 日本消化器外科学会指導医・専門医 日本消化器病学会指導医・専門医 日本乳癌学会乳腺専門医 乳がん検診超音波検査実施・判定医師 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会乳房再建責任医師 日本Acute Care Surgery学会認定外科医・評議員 日本腹部救急医学会教育医 日本医師会認定産業医 検診マンモグラフィー読影認定医 日本救急医学会認定 インフェクションコントロールドクター（ICD） 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本DMAT登録隊員 JATECインストラクター ATOMインストラクター Certificate of da Vinci System Training As a First Assistant	平成13年
やまもと かずゆき 山本 和幸 減量サポート・外科治療 センター 副センター長	副部長	専門分野 ：胃外科、大腸外科、内視鏡外科、肥満手術、 ロボット手術 医学博士 日本外科学会 外科専門医・指導医 がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医 消化器がん外科治療認定医 日本内視鏡外科学会評議員 消化器・一般外科（胃）技術認定医 ロボット支援手術認定プロクター（手術指導医）（結腸）（直腸） Certificate of da Vinci System Training As a Console Surgeon	平成17年

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
くわばら しょうた 栞原 尚太	医 師	専門分野：消化器外科 医学博士（北海道大学） 日本外科学会外科専門医 日本消化器外科学会消化器外科専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本肝胆膵外科学会評議員 日本腹部救急医学会腹部救急認定医 日本臨床栄養代謝学会認定医 緩和ケア研修会修了 T N T 研修会修了 臨床研修指導医 Certificate of da Vinci System Training As a Console Surgeon	平成23年
あおき ゆうま 青木 佑磨	医 師	専門分野：消化器外科 外科専門医 Certificate of da Vinci System Training As a First Assistant Certificate of da Vinci System Training As a Console Surgeon JATECコース修了 緩和ケア研修会修了	平成27年
いしどう けいた 石堂 敬太	医 師	専門分野：外科 外科専門医 Certificate of da Vinci System Training As a First Assistant 緩和ケア研修会 修了	平成28年

診療予定表

(初診：8：00～11：00)

	月	火	水	木	金
一般外来	栗原	東海林 (乳腺外来)	市村 (肛門外来)	東海林 (乳腺外来)	真名瀬
	青木	山本	石堂		福永
専門外来		山本 (減量サポート外科治療センター・ 内視鏡外科外来)			

* 外来患者で手術目的の方は12:00以降の診察になります。

* 専門外来（減量サポート・外科治療センター・内視鏡外科外来）は毎週火曜日14:00～16:00予約が必要です。

診療実績（2023年1～12月）

項目	患者数
外来新患数	534
外来延数	6,018
新入院数	817

主な手術実績（2023年1～12月）

項目	件数	項目	件数
創傷処理	22	横隔膜縫合術	1
皮膚切開	4	抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置	21
デブリードマン	2	血管塞栓術	1
皮膚腫瘍摘出術	1	リンパ節摘出術	6
皮膚悪性腫瘍切除術	1	ヘルニア手術	24
皮弁作成術，移動術，切断術，遷延皮弁術	1	腹腔鏡下ヘルニア手術	7
筋肉内異物摘出術	1	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）	37
乳腺腫瘍摘出術	4	試験開腹術	6
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術	44	腹腔鏡下試験開腹術	5
乳腺悪性腫瘍手術	36	腹腔鏡下試験切除術	7
胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術	3	経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	2

主な手術実績（2023年1～12月）

項目	件数
急性汎発性腹膜炎手術	18
腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術	3
大網腫瘍摘出術	1
腸間膜腫瘍摘出術	2
腹腔鏡下大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術	2
後腹膜悪性腫瘍手術	1
骨盤内臓全摘術	1
胃縫合術	1
腹腔鏡下胃・十二指腸潰瘍穿孔縫合術	4
内視鏡的消化管止血術	2
胃局所切除術	2
腹腔鏡下胃局所切除術	1
胃切除術	4
腹腔鏡下胃切除術	26
腹腔鏡下胃縮小術	4
腹腔鏡下胃全摘術	8
胃腸吻合術	4
腹腔鏡下胃腸吻合術	8
胃瘻造設術	2
胆嚢摘出術	3
腹腔鏡下胆嚢摘出術	100
胆嚢悪性腫瘍手術	2
腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術	1
胆管悪性腫瘍手術	1
肝門部胆管悪性腫瘍手術	1
総胆管胃（腸）吻合術	2
経皮的胆管ドレナージ術	1
内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術	1
内視鏡的胆道結石除去術	1
肝切除術	4
腹腔鏡下肝切除術	3
膵中央切除術	1
膵体尾部腫瘍切除術	4

項目	件数
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	2
膵頭部腫瘍切除術	13
膵管空腸吻合術	1
脾摘出術	1
腹腔鏡下脾摘出術	2
腸切開術	1
腸管癒着症手術	22
腹腔鏡下腸管癒着剥離術	19
小腸切除術	16
腸閉塞症手術	2
腹腔鏡下小腸切除術	8
小腸腫瘍摘出術	1
腹腔鏡下虫垂切除術	36
結腸切除術	34
腹腔鏡下結腸切除術	7
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	55
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	1
腸瘻造設術	2
人工肛門造設術	26
腹腔鏡下人工肛門造設術	19
腸閉鎖症手術	2
小腸瘻閉鎖術	2
人工肛門閉鎖術	10
人工肛門形成術	1
直腸腫瘍摘出術	1
直腸切除・切断術（切断術）	1
腹腔鏡下直腸切除・切断術	46
痔核手術	7
肛門周囲膿瘍切開術	1
肛門良性腫瘍切除術	1
膀胱壁切除術	1
膀胱単純摘除術	1

診療部長よりひとこと

当院はドクターヘリ運用施設、三次救急医療機関です。そのような施設の外科として、まず救急医療、緊急手術に対応すべく、医師一同、日々業務に励んでおります。

さらに悪性疾患、一般外科手術に対する手術などについても、高度医療を積極的に導入し、大腸癌に対するロボット支援下手術も積極的に行っております。減量手術(道北で唯一の実施施設となります)の実施件数も、多くの医療機関からご紹介いただき、順調に増えております。

院内では多種多様な医療スタッフと協力し、チーム医療で、治療中の患者さんご家族の不安を少しでも軽減できるような対応を心がけております。

各医療機関からのご紹介を通じて、地域の皆様が安心して暮らせるよう尽力させていただきたいと思っておりますので、いつでもご相談・ご紹介ください。



減量サポート・外科治療センター



減量手術



ロボット支援下結腸癌手術



臍頭十二指腸切除術



診療予定表

(午前 8:00~11:30 午後~15:30)

	月	火	水	木	金
午前	休診	休診	休診	福永	休診
午後	休診	休診	休診	福永	中谷

診療実績 (2023年1~12月)

項目	患者数
外来新患数	125
外来延数	788
新入院数	145

主な手術実績 (2023年1~12月)

項目	件数	項目	件数
創傷処理	7	肺切除術	2
デブリードマン	1	胸腔鏡下肺切除術	16
動脈(皮)弁術	1	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術	4
骨折非観血的整復術	1	胸腔鏡下良性胸壁腫瘍手術	1
一時的創外固定骨折治療術	1	胸腔鏡下肺縫縮術	4
肋骨骨折観血の手術	1	肺悪性腫瘍手術	2
肋骨切除術	1	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術	66
胸腔鏡下試験切除術	2	胸腔鏡下(腹腔鏡下を含む)横隔膜縫合術	1
胸腔内(胸膜内)血腫除去術	1	胸腹裂孔ヘルニア手術	1
胸腔鏡下胸腔内(胸膜内)血腫除去術	2		
胸腔鏡下膿胸腔搔爬術	10	上記項目の内、ダヴィンチを使用した件数	件数
胸郭形成手術	2	胸腔鏡下拡大胸腺摘出術	1
胸腺摘出術	1	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術	3
胸腔鏡下拡大胸腺摘出術	1	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術	2
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術	3	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術	52

診療部長よりひとこと

2019年4月より赴任し、年100件程度の呼吸器外科手術を行ってまいりました。このうちの約半数は肺癌です。肺癌は癌の中でも進行が早く悪性度が高いとされていますが、一方で早期発見し手術を含めた根治治療ができると、高い確率で治療が見込める事も知られています。最近肺抹消の小結節で、気管支鏡等による確定診断が困難な肺癌疑い病変に対し、診断的治療として胸腔鏡下術を行う例が増えています。術前の画像で肺癌と判断したうちの9割以上が早期肺癌です。当院では侵襲の少ない胸腔鏡手術、肺切除量の少ない区域切除を積極的に行い良好な成績を得ていますが、2022年3月よりロボット支援下肺悪性手術ができるようになり、更に精密で侵襲の少ない手術が可能となっています。小さな病変でも肺癌の可能性がございますので、ちょっとした異常陰影であってもいつでもご紹介ください。

また、従来外科と協力して診療を行ってまいりましたが、2022年4月より呼吸器外科専任医が増員となり、更に診療体制が充実しました。気胸、膿胸、胸部外傷といった救急疾患・外傷も24時間体制で受け入れておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



ダビンチXiサージカルシステム



VATSの手術風景：5mmの細かいカメラを胸腔内に入れ、大きく映したモニターをみながら手術を行います。



外科・呼吸器外科スタッフ
 前列右から二人目中谷Dr.、
 三人目福永

診療科の概要

脳神経外科は脳、神経及び関連する血管などの付属機関を含めた神経疾患の中で主に外科治療の対象となりうるものを扱う診療科です。当院では特に脳血管障害、脳腫瘍、脳神経障害（顔面けいれん、三叉神経）を中心に診療しています。

1) 24時間365日の救急医療

当院は救命救急センターおよびドクターヘリ基地を有し、24時間365日救急対応を行っています。脳神経外科医も常時院内に待機しています。320列高速CT、1.5テスラMRI、3D-DSA、脳血流SPECTなどの画像診断装置も24時間稼働しており、脳卒中（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血）、頭部外傷など一刻一秒を争う病態にも迅速に対応しています。また、脳卒中ホットラインや、電子カルテ情報共有のinet、画像参照システムのJoinを活用し、旭川市内病院やクリニック及び、富良野協会病院、留萌市立病院といった周辺地域の基幹病院とも高度な連携を行っており、ご紹介いただいた脳疾患患者さんの診断、治療を当院で行った後、地域の病院でのリハビリテーション及びフォローアップといったシームレスな医療を提供しています。

2) 高度な専門治療

当院では開頭手術、脳血管内手術ともに高い技術を有しており、脳動脈瘤に対するクリッピング、コイル塞栓術、脳動脈閉塞に対する脳血管バイパス術、血栓回収療法、内頸動脈狭窄に対する内頸動脈内膜剥離術、頸動脈ステント留置術、顔面けいれん、三叉神経痛に対する神経血管減圧術のほか、大型脳動脈瘤に対するバイパス併用クリッピングやフローダイバーターの留置といった高度の治療も可能です。また難易度の高い頭蓋底腫瘍に対する治療も積極的に行っています。

3) 主な対象疾患

脳動脈瘤 脳梗塞 脳腫瘍 顔面けいれん、三叉神経痛

医師紹介

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
まきの けんいち 牧野 憲一	院長	専門分野： 脳循環代謝、脳核医学、脳卒中治療、医療マネジメント 日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医 日本救急医学会専門医 医学博士 日本医師会認定産業医 病院総合医 総合診療専門研修特任指導医	昭和54年

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
たきざわ かつみ 瀧澤 克己	副院長 部長 医療安全 推進室室長	専門分野： 脳血管障害手術（脳動脈瘤手術・バイパス手術 内膜剥離術）、頭蓋底腫瘍、医療安全 日本脳神経外科学会専門医・国際小委員会委員 日本脳卒中学会認定医・指導医・評議員 旭川医科大学臨床指導教授 藤田医科大学ばんだね病院 客員教授 日本脳神経外科救急学会評議員 日本意識障害学会評議員 病院総合医	平成2年
わだ はじめ 和田 始	部長	専門分野： 脳卒中、脳血管内治療 日本脳神経外科学会指導医・専門医 日本脳卒中学会指導医・専門医 日本脳血管内治療学会指導医・専門医 博士（医学）乙第456号	平成3年
さくらい じゅろう 櫻井 寿郎	部長	専門分野： 脳外科一般、脳血管内治療 日本脳神経外科学会専門医 日本脳神経血管内治療学会専門医	平成5年
たけばやし せいじ 竹林 誠治	部長	専門分野： 脳神経外科一般、脳卒中外科 日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中の外科学会技術指導医 医学博士	平成5年
こばやし とおる 小林 徹	部長	専門分野： 脳神経外科、脳卒中外科 日本脳神経外科学会認定専門医 日本脳卒中学会認定指導医 医学博士 日本脳卒中の外科学会認定指導医	平成8年
こばやし りな 小林 理奈	医師	専門分野： 脳神経外科、脳卒中 医学博士 日本脳神経外科専門医 日本脳卒中学会認定専門医	平成9年

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
やまぐち 山口 なつき	医 師	専門分野：脳神経外科	平成22年
ひらばやし たくみ 平林 拓海	医 師	専門分野：脳血管障害 脳神経外科専門医 脳血栓回収療法実施医	平成28年
おくやま ともひろ 奥山 友浩	医 師	専門分野：脳神経外科 日本脳神経外科学会専門医	平成30年

診療予定表

(初診：8:00~12:00)

	月	火	水	木	金
第一診察室	平林	小林(理)	櫻井 (血管内治療外来)	竹林	小林(徹)
第二診察室	新患外来	新患外来	新患外来	新患外来	新患外来
第三診察室			牧野		和田 (血管内治療外来)
第四診察室	瀧澤	瀧澤		瀧澤	

◎臨時手術等で担当医が変更となる場合がありますので、ご了承ください。

◎新患担当医は日替わりになっています。

◎新患で診療希望医がある場合は、希望医の外来日に受診して、受付で申し出て下さい。

◎紹介状のない新患、予約外の再来も受付致しますが、待ち時間が長くなる場合があることをご了承ください。

診療実績 (2023年1~12月)

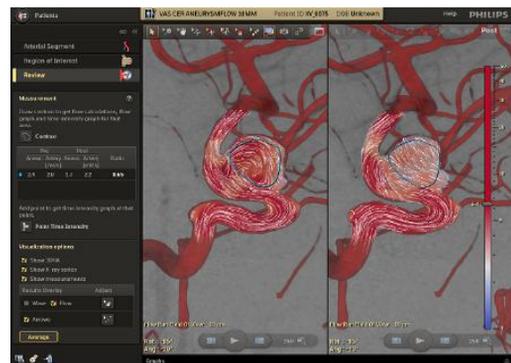
項目	患者数
外来新患数	1,103
外来延数	13,436
新入院数	1,190

主な手術実績（2023年1～12月）

手術	2023	2022	2021
脳動脈瘤クリッピング術（破裂）	52	47	43
脳動脈瘤クリッピング術（未破裂）	46	53	60
頭蓋内血腫除去術	13	21	27
脳血管バイパス術（モヤモヤ病含む）	10	17	10
内頸動脈内膜剥離術	21	8	22
脳動静脈奇形摘出術	5	4	2
頭蓋内腫瘍摘出術	29	40	37
広範囲頭蓋硬膜腫瘍切除・再建術	0	1	0
経鼻的下垂体腫瘍摘出術	3	2	5
脳神経手術（顔面けいれん・三叉神経痛）	11	4	8
慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	96	89	96
水頭症手術（シャント手術）	50	43	32
急性硬膜下血腫・外血腫	9	15	12
その他(手術)	34	35	40
血管内手術	2023	2022	2021
脳動脈瘤塞栓術（破裂）	9	8	9
脳動脈瘤塞栓術（未破裂）	23	15	22
フローダイバーター留置術	3	5	6
頸動脈ステント留置術	14	11	17
脳動静脈奇形塞栓術	8	5	4
シャント疾患塞栓術	1	3	5
血栓回収術	59	57	42
その他(血管内手術)	6	3	3
合計	498	480	501

診療部長よりひとこと

日頃より多くのお患者のご紹介をいただき、感謝申し上げます。当科は昭和42年に開設されましたが、以降道北地方における脳疾患治療の拠点病院として機能しています。従来より開頭手術においては日本有数の症例数と治療成績を治めていて、全国的にも認知されておりますが、2020年度より血管内治療チームも充実したものとなり、あらゆる困難例に対応可能な体制が整っています。患者のみならず、ご紹介いただいた連携病院の先生にも満足いただける医療を提供できると自負しておりますので、動脈瘤等の血管障害のみならず、頭蓋底を含む脳腫瘍、三叉神経痛・顔面けいれんといった機能疾患まで、引き続きご紹介をいただけましたらと存じます。今後ともよろしくごお願い申し上げます。



診療科の概要

旭川赤十字病院は救命救急センターを併設しており、2次・3次救急を担うとともに道北ドクターヘリ基地病院としての役目もあり、旭川近郊のみならず道北一円から急性期の患者を受け入れております。当科でも救急要請は基本的に受け入れていますが、再接着を要する指切断、血管吻合を必要とする開放骨折は対応できないため、旭川医科大学や徳洲会病院にお願いしています。また四肢麻痺を伴う脊髄損傷も北海道中央病院脊損センターにお願いしています。

外来は平日の午前中のみで、紹介状のない新患の方は近くの医療機関を案内しています。専門外来は特にありません。骨軟部腫瘍は専門性が高く、症例集積のためにも大学にお願いしています。

毎日手術を行い、年間手術件数は800例前後です。約半数が臨時手術で、特に多いのが高齢者の大腿骨近位部骨折です。地域医療連携パスを用いており、可能な限り即日手術、翌日よりハビリ開始として2週間前後で連携先に転院をお願いしています。

上下肢の外傷は、前述の特殊症例以外ほぼ全てに対応できます。多発・多臓器損傷であることもよくありますが当院では各専門科の協力体制により集中治療ができています。そのほかMSWや栄養課など様々な職種のサポートでより良い医療を目指しています。脊椎疾患は外傷、変性疾患を問わず、頸椎から腰椎まで治療しています。慢性疾患ではおもに膝の靭帯再建や人工関節手術を行っています。

対象疾患

- * 上下肢の外傷多発・多臓器損傷脊椎疾患は外傷、変性疾患を問わず、頸椎から腰椎まで治療
- * 療膝の靭帯再建や人工関節手術

医師紹介

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
たかはし しげる 高橋 滋	部長	専門分野： 股関節外科 日本整形外科学会スポーツ医 日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会 運動器リハビリテーション医	平成元年
たなか まさひと 田中 雅仁	副部長	専門分野： 整形外科、関節外科、四肢外傷 日本整形外科学会スポーツ医 日本整形外科学会専門医 JABO/OTC Japan 世話人 北海道整形外科外傷研究会 評議員	平成12年

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
さとう ごう 佐藤 剛	医 師	専門分野 ：足の外科、スポーツ整形外科、膝関節外科 日本整形外科学会認定専門医 医学博士 日本スポーツ協会公認スポーツ医	平成20年
ささい けんご 笹井 健吾	医 師	専門分野 ：整形外科 整形外科専門医	平成28年
たかはし ひろき 高橋 裕貴	医 師	専門分野 ：整形外科 整形外科専門医	平成29年
かも ゆうき 加茂 裕樹	医 師	日本整形外科学会専門医（機構専門医） 日本脊椎脊髓病学会認定医 脊椎脊髓外科指導医	昭和57年

診療予定表 (初診：8:00~11:00)

月	火	水	木	金
高橋(滋) 佐藤	高橋(滋) 田中 加茂	笹井 佐藤 加茂	高橋(滋) 高橋(裕)	笹井 田中

診療実績 (2023年1~12月)

項目	患者数
外来新患数	951
外来延数	11,647
新入院数	966

主な手術実績（2023年1～12月）

項目	件数	項目	件数
創傷処理	131	関節鏡下関節滑膜切除術	4
皮膚切開	2	関節鏡下滑液膜摘出術	6
デブリードマン	5	関節鏡下関節鼠摘出手術	1
分層植皮術	2	関節鏡下半月板切除術	5
全層植皮術	2	関節内骨折観血の手術	61
皮弁作成術，移動術，切断術，遷延皮弁術	1	関節鏡下関節内骨折観血の手術	3
筋膜切開術	1	靭帯断裂縫合術	8
腱鞘切開術	9	観血的関節授動術	1
四肢・軀幹軟部腫瘍摘出術	1	観血的関節固定術	1
腱剥離術	2	関節鏡下靭帯断裂形成手術	3
腱縫合術	16	人工骨頭挿入術	69
アキレス腱断裂手術	9	人工関節置換術	28
腱延長術	2	直達牽引	3
腱移植術	1	四肢切断術	13
腱移行術	1	断端形成術（骨形成を要す）	7
骨搔爬術	1	手根管開放手術	14
骨折非観血的整復術	112	腸骨翼骨折観血の手術	2
骨折経皮的鋼線刺入固定術	54	寛骨臼骨折観血の手術	1
骨折観血の手術	483	骨盤骨折観血の手術	7
観血的整復固定術	5	脊椎内異物（挿入物）除去術	6
一時的創外固定骨折治療術	24	後縦靭帯骨化症手術	1
難治性骨折超音波治療法（一連につき）	8	椎間板摘出術	5
超音波骨折治療法（一連につき）	14	椎間板内酵素注入療法	4
骨内異物（挿入物）除去術	134	脊椎骨切り術	1
骨部分切除術	2	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術	75
骨切り術	5	経皮的椎体形成術	5
偽関節手術	6	神経縫合術	1
骨移植術	35	脊髄腫瘍摘出術	1
軟骨移植術	1	神経腫切除術	1
化膿性又は結核性関節炎搔爬術	1	神経移行術	5
関節脱臼非観血的整復術	44	鼻骨骨折整復固定術	2
関節脱臼観血的整復術	7	内視鏡の食道・胃静脈瘤結紮術	1
関節内異物	2	動脈吻合術	1

診療科の概要

形成外科とは身体の組織の異常や変形、欠損、整容的な不満足に対して、様々な手法や特殊技術を駆使し、機能と形態をより正常により美しくすることで“Quality of Life”を向上させる、外科専門領域です。当科では日帰り可能な局所麻酔手術から入院が必要な全身麻酔手術まで対応しております。

北海道道北地域では形成外科のある病院が少なく他市町村からも多くの患者様をご紹介します。

主な対象疾患

- 外傷（擦り傷、切り傷、皮膚欠損など）
- 熱傷・凍傷・化学損傷（薬品や化学物質などによる損傷）
- 顔面の骨折・変形
- 眼瞼（まぶた）の治療（眼瞼下垂、睫毛内反症・外反症）
- 先天疾患（手足、耳、へそ、まぶたなど）
- 皮膚・皮下組織を中心とした良性・悪性腫瘍
- 腫瘍切除後の組織再建
- 乳房再建
- 瘢痕（きずあと）、ケロイド、瘢痕拘縮（ひきつれ）
- 褥瘡（とこずれ）、難治性皮膚潰瘍
- その他（リンパ浮腫、腋臭症・多汗症）

スタッフ紹介



前列左より中桐医師、丹代医師、宮田医師、田中医師

医師紹介

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
たんだい いさお 丹代 功	部長	専門分野 ：顔面骨骨折・軟部組織損傷、新鮮外傷、熱傷、手足の先天奇形、その他の先天奇形、褥瘡、難治性潰瘍、皮膚・軟部腫瘍、悪性腫瘍と再建、眼周囲の形態異常（眼瞼下垂、内反、外反症など） 瘢痕、瘢痕拘縮、ケロイド 認定・専門医 ：日本形成外科学会認定専門医・領域指導医 日本熱傷学会認定熱傷専門医・評議員 皮膚腫瘍外科分野指導医 日本創傷外科学会専門医 ICD（インフェクションコントロールドクター） 乳房再建用エキスパンダー・インプラント責任医師	平成9年
なかぎり りょうこ 中桐 僚子	副部長	専門分野 ：形成外科（一般形成、乳房再建） 認定・専門医 ：医学博士 日本形成外科学会専門医・指導医 再建・マイクロサージャリー分野指導医 日本熱傷学会専門医 乳房再建用エキスパンダー・インプラント責任医師	平成18年
つじ とむひろ 辻 知紘	医師	専門分野 ：形成外科	令和4年
たなか 田中 あかね	医師		平成13年

診療予定表 初診（8：00～11：00）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
形成外科一般	丹代 中桐	田中	中桐 辻	辻	丹代 田中
乳房再建	中桐		中桐		
午後外来	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医

- ◎予約患者を優先して診察します。
- ◎午後外来は予約のみとなります。
- ◎臨時手術等で担当医が変更となる場合があります。
- ◎自費診療でアンチエイジング治療（レーザー・ドクターズコスメ販売）も形成外科一般外来で行っています。

診療実績（2023年1～12月）

項目	患者数（人）
外来新患数	848
外来延数	5,709
新入院数	345

主な手術実績（2023年1～12月）

手術・疾患分類	手術件数
外傷（熱傷・凍傷、化学損傷、電撃傷、顔面骨骨折、手・足の外傷など）	223
先天異常（手足の奇形、眼瞼の形態異常、耳・へそなど）	18
腫瘍（母斑、血管腫など皮膚・皮下組織を中心とした良性・悪性腫瘍、組織再建など）	407
瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	35
難治性潰瘍（褥瘡、壊疽、糖尿病性潰瘍、その他の皮膚欠損など）	164
炎症・変性疾患（蜂窩織炎、壊死性筋膜炎など）	135
その他（眼瞼下垂症、睫毛内反症・外反症など）	138
レーザー治療（しみ、あざ、皮膚の隆起性病変）	32
合計	1,152

施設認定・施設基準

- ◆日本形成外科学会認定施設
- ◆熱傷専門医認定研修施設
- ◆自家培養表皮ジェイス（再生医療）実施施設（重症広範囲熱傷症例を対象）
- ◆日本乳房オンコプラスチックサージェリー学会エキスパンダー実施施設（一次・二次再建）
- ◆日本乳房オンコプラスチックサージェリー学会インプラント実施施設（一次・二次再建）
- ◆エピフィックス（EpiFix）（ヒト羊膜使用組織治癒促進用材料）使用可能施設

診療部長よりひとこと

診療では旭川市内の他、道北地方一帯から患者様を御紹介していただいております。

当院は道北ドクターヘリの拠点病院であり、救急救命センターも併設しており外傷患者の受け入れも多くあります。当科は傷や傷跡を治すプロフェッショナルであり、救急医療では創傷治療センター・創傷ケアセンターとしての役割が大きいと感じています。

その他近年、美容医療への関心が高まり、シミ・シワやアンチエイジングに悩んでいる方が少なくありません。私達は正しい医学情報を提供しつつ、ニーズに答えるためレーザーの導入やドクターズコスメ（医療的化粧品）を導入しております。当科の保険外治療は比較的施術を受けやすい医療費を設定し、好評を得ております。

また当院は臨床研修病院でもあり、多くの研修医が当科研修中に創傷治療や縫合技術などを習得しています。研修中に少しでも医師として成長できるような診療科を目指しております。

眼瞼下垂症・内反症治療の紹介

眼瞼下垂症はまぶたが下がって見えにくくなる病気です。当科では眼瞼下垂症に対して病態に応じた術式で手術を行っております。

先天性のものやコンタクトレンズなどが原因のものが多いですが、特に加齢性変化によるものが多く、老化とあきらめてしまっている患者様もいます。多くの患者様に眼瞼下垂症は手術で改善するという事を知っていただくためにポスターも作成しております。

また、眼瞼疾患として眼瞼内反症も多く、その修正手術も行っております。内反症により睫毛が眼球に当たるため、定期的に抜毛をされている患者様も多く、手術で改善するため喜んでいただけることが多いです。

眼瞼下垂症

視界が狭くないですか？

眼瞼下垂症はうわまぶたが下がって開けにくくなる病気です。加齢、コンタクトレンズの長期使用、先天性のものなど原因はさまざまです。眼瞼下垂症のために肩こりや頭痛が起こることもあります。



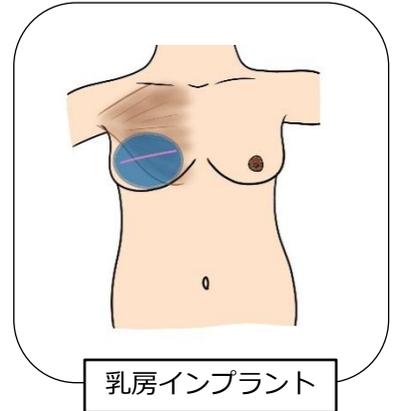
眼瞼下垂症は手術で改善します。(保険適用) 気になっている方はご相談ください。

旭川赤十字病院 形成外科
(0166)22-8111

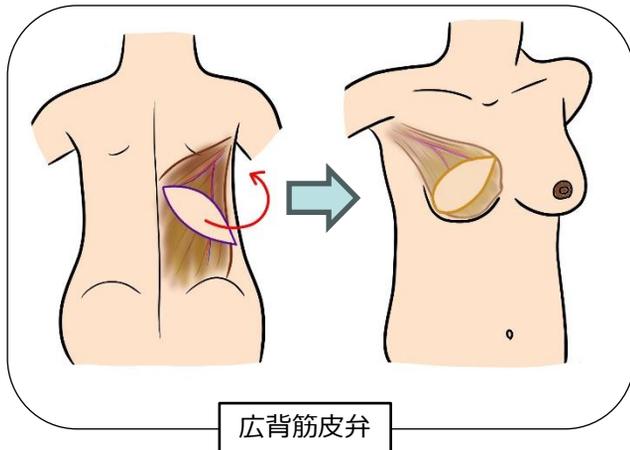
乳房再建の紹介

乳癌などで乳房切除の手術をされた方に対して乳房再建手術を行っています。再建方法は、人工物再建と自家組織再建のどちらも可能です。自家組織再建では遊離皮弁による再建も行っており、患者様のご希望にあった手術を行うことができます。

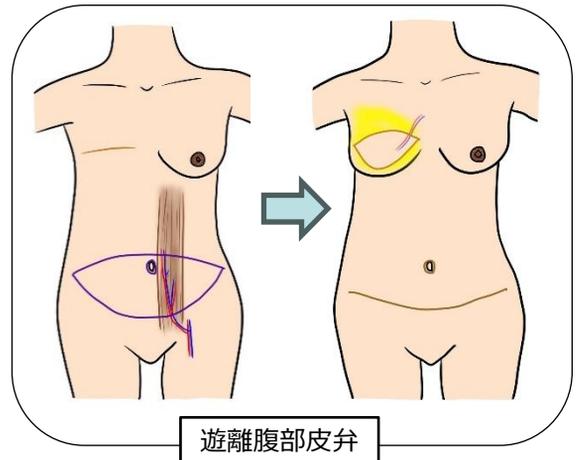
当院では病状によっては、外科の切除時に同時に再建手術をする一次再建も可能です。



乳房インプラント



広背筋皮弁



遊離腹部皮弁

レーザー治療の紹介

◆ Qスイッチ・ルビーレーザー

- ・シミ・アザに効果的。正常の組織へのダメージを抑えながらメラニン色素を破壊する機器です。
- ・治療後も洗顔、お化粧品は可能です。



◆ 炭酸ガスレーザー

- ・隆起型のほくろやイボの治療に効果的です。
- ・熱で瞬間的に蒸散し皮膚を削り腫瘍を除去する機器です。



ドクターズコスメの紹介 (医療機関のみで販売可能)

◆ NAVISION DR (ナビジョン デイアール)

- ・資生堂と岩城製薬が医療機関向けに開発したスキンケアブランドです。
- ・老若男女問わず、デリケートな肌にも安心してお使いいただけるシリーズです。
- ・当院スタッフも愛用しています。

<シリーズの紹介>

- ・美白有効成分配合の化粧水
- ・抗酸化成分を配合した乳液
- ・肌の透明感・シワ面積改善マルチクリーム
- ・高いUV機能を持った日焼け止め
- ・スキンケア成分配合のファンデーション
- ・女性でも使用可能な育毛剤
- ・まぶたのしわやくすみ対策のアイケアセット



診療科の概要

当科は成人の心・大血管疾患・末梢動脈疾患・静脈疾患の診療にあたっています。救命救急センターを標榜する病院の心臓血管外科であるため、急性大動脈解離、急性冠疾患、大動脈破裂、急性上肢・下肢動脈閉塞などは緊急で手術をおこないます。心・大血管は安心・安全に重きを置いて全力で取り組んでいます。大動脈瘤に関しては、ステントグラフトを導入し10年以上経ちましたが、高齢患者さんの満足度も高く、高齢であっても治療をおこないたいと思っています。末梢血管はこれまで通りバイパス手術も継続しますが、デバイスの進歩が著しいカテーテル治療に力を注ぎ、低侵襲化を進めています。静脈瘤は硬化療法や静脈瘤焼灼術を導入し、安全確実な治療を心がけています。静脈血栓症は認知度が上がり、紹介患者数も多くなりましたが、ワーファリンに取って代わるDOACにより外来診療で対応できることが多くなりました。

対象疾患

成人心疾患：虚血性心疾患、弁膜症、肺動脈血栓症

成人大血管：急性大動脈解離、胸部大動脈瘤、腹部大動脈瘤

抹消血管：抹消動脈疾患、静脈瘤などの静脈疾患、静脈血栓症

その他：手掌多汗症

医師紹介

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
うえやま けいし 上山 圭史	院長補佐 部長	専門分野 ：成人心臓血管外科一般、下肢静脈瘤、胸部交感神経遮断術等 日本胸部外科学会認定医 日本循環器学会認定循環器専門医 日本心臓血管外科学会修練指導医 日本外科学会専門医 日本脈管学会認定脈管専門医 日本心臓血管外科専門医 下肢静脈瘤に対する血管内治療実施基準による実施医	昭和62年
こやま もとひろ 小山 基弘	副部長	専門分野 ：成人 心臓・大血管・抹消血管 日本外科学会専門医 日本心臓血管外科専門医 腹部ステントグラフト指導医 胸部ステントグラフト指導医	平成8年
いとう かえ 伊藤 佳永	医師	日本医師会認定産業医	平成25年

診療時間

(初診8:00~11:30)

月	火	水	木	金
休診	小山	上山	休診	上山

診療部長よりひとこと

心臓の手術というと一般の方は危険性が高く、手術時間も長く、後遺症が残ることも多い手術を想像されると思います。しかし現在は手術成績も良くなり、予定手術では死亡率も1%を切るようになってきました。また当院では胸部、腹部大動脈瘤のステントグラフトや、下肢静脈瘤に対する焼灼術、下肢閉塞性動脈硬化症に対する血管内治療等、低侵襲な治療も取り入れ低侵襲な治療にも取り組んでいます。

主な手術実績

総手術数（血管内手術を含む）

2020年：387例

2021年：369例

2022年：454例

2023年：473例



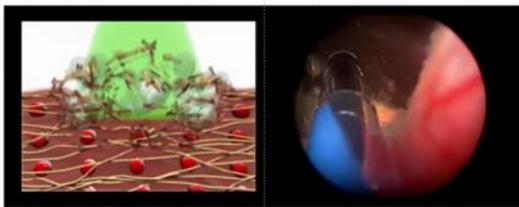
担当医師左から小山副部長、伊藤医師、上山部長

診療科の概要と対象疾患

泌尿器科では、泌尿器癌、前立腺肥大症や過活動膀胱といった排尿障害、腎結石、尿管結石、膀胱結石といった尿路結石、尿路性器感染症などを扱っています。

- 泌尿器癌には膀胱癌、前立腺癌、腎盂・尿管癌、腎癌、精巣腫瘍、陰茎癌などがあり、それぞれの疾患について診断から治療まで、各種ガイドラインに基づいた標準的治療を行うことを心がけています。前立腺癌に対する前立腺全摘除術、腎癌に対する腎部分切除術、腎盂・尿管癌に対する腎尿管全摘除術、膀胱癌に対する膀胱全摘除術は、ダヴィンチを用いたロボット支援手術で行っています。腎癌に対する腎摘除術は主に腹腔鏡手術で行っています。
- 膀胱全摘除術で尿路変更を行った方には、皮膚・排泄ケア認定看護師と協力してストーマケアをサポートしています。
- 転移がある腎癌、膀胱癌、腎盂・尿管癌に対しては、抗癌剤、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬による治療を行っています。
- リスクの高い前立腺癌に対しては、新規のホルモン治療薬や抗癌剤による治療を行なっています。
- 前立腺肥大症に対しては、低侵襲で合併症の少ない治療法である「経尿道的光選択的前立腺レーザー蒸散術(PVP)」と「経尿道的水蒸気治療(WAVE)」を行っています。高齢の方や手術リスクの高い合併症をお持ちの方も治療することができ、その治療効果は従来の経尿道的前立腺切除術と遜色ありません。

グリーンライトレーザを用いたPVPでは、特殊な波長の高出力レーザを用います。このレーザは特に赤い色に吸収されやすい性質を持つため、血流の豊富な前立腺組織を効率的に蒸散させる(気化させて除去)ことができます。



WAVE治療の流れ



©2024 Boston Scientific Corporation or its affiliates. All rights reserved.
All trademarks are property of their respective owners.

- 尿路結石に対しては、レーザーと軟性腎盂尿管鏡を用いた経尿道的手術や、経皮的手術と経尿道的手術を同時に行う手術で、最終的に結石をゼロにすることを目標に治療しています。
- 尿路性器感染症は、外来で治療する膀胱炎や入院治療の必要な急性腎盂腎炎、急性前立腺炎などに対して、血液培養や尿培養による起病菌の同定と適切な抗菌薬使用を心がけています。

医師紹介

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
ほった ひろし 堀田 裕	院長補佐 部長 感染症科 部長	専門分野 ：泌尿器感染症、泌尿器癌 医学博士 日本泌尿器科学会認定専門医・指導医 インфекションコントロールドクター（ICD） 日本がん治療認定医機構認定がん治療認定医 日本感染症学会認定感染症指導医 日本泌尿器内視鏡・ ロボティクス学会認定泌尿器腹腔鏡技術認定医 日本内視鏡外科学会認定泌尿器腹腔鏡技術認定医	平成3年
みやもと しんたろう 宮本 慎太郎	部長	専門分野 ：泌尿器科全般・腹腔鏡・ロボット支援手術 日本泌尿器科学会専門医・指導医 日本がん治療認定医機構認定がん治療認定医 日本泌尿器内視鏡学会認定泌尿器腹腔鏡技術認定医 日本内視鏡外科学会泌尿器腹腔鏡技術認定医 da Vinci Surgical System Certificate ドクター （泌尿器科ロボット支援手術） 泌尿器ロボット支援手術プロクター認定医（手術指導医）	平成15年
なかやま しょう 中山 奨	医師	専門分野 ：泌尿器科一般 泌尿器科学会専門医	平成29年
よしかわ ともひろ 吉川 友博	医師	専門分野 ：泌尿器科一般	令和2年

診療予定表 (午前8:00~11:00)

	月	火	水	木	金
午前	堀田	宮本	堀田	宮本	中山
午後	入院患者診療	手術	手術	入院患者診療	手術

診療実績（2023年1～12月）

項目	患者数
外来新患数	533
外来延数	7,997
新入院数	742

主な手術実績

手術	2023	2022
副腎摘除術	2（うち腹腔鏡下手術2）	3（うち腹腔鏡下手術3）
根治的前立腺摘除術	29（うちロボット支援手術29）	20（うちロボット支援手術20）
根治的膀胱摘除術	11（うちロボット支援手術10）	19（うちロボット支援手術13、腹腔鏡下手術6）
根治的腎摘除術	22（うち腹腔鏡下手術20）	18（うち腹腔鏡下手術18）
腎部分切除術	14（うちロボット支援手術13）	6（うちロボット支援手術4）
根治的腎尿管摘除術	17（うちロボット支援手術11、腹腔鏡下手術6）	15（うちロボット支援手術1、腹腔鏡下手術14）
経尿道的膀胱腫瘍切除術（TURBT）	129	158
経尿道的腎尿管碎石術（TUL）	90	112
経皮的腎碎石術（PNL）	-	2
経皮的経尿道的同時碎石術（ECIRS）	2	4
経尿道的膀胱碎石術	23	18
経尿道的前立腺切除術	7	-
経尿道的前立腺水蒸気治療	7	-
経直腸的前立腺針生検	100	125
除睾術	11	11
経尿道的尿管ステント留置術	109	151
その他	109	100
合計	682	762

診療部長よりひとこと

泌尿器癌に対するロボット支援手術、前立腺肥大症に対するレーザー治療など、より低侵襲の治療法を行うことで、入院期間を短くして退院後も入院前と同じ生活が送れるようになってきました。治療後の通院をかかりつけ医にお願いすることで、病院と診療所の役割分担を進めています。

診療科の概要

- ◎ 聴力改善手術をおこなっています。
- ◎ 突発性難聴に対する音楽療法をおこなっております。
- ◎ めまいに対する集団リハビリ治療をおこなっています。
- ◎ 難治性の鼻中隔彎曲症に対する外鼻形成術をおこなっています。
- ◎ 経鼻内視鏡を利用した頭蓋底手術をおこなっています。
- ◎ 内視鏡補助下甲状腺手術をおこなっています。
- ◎ 顔面神経麻痺に対する急性期リハビリをおこなっています。
- ◎ 顔面神経麻痺後遺症に対する、ボツリヌス毒素・ミラーバイオフィードバック併用療法をおこなっています。
- ◎ 音声外科手術をおこなっています。
- ◎ 嚥下機能改善手術・誤嚥防止手術をおこなっています。

主な対象疾患

A. 耳・めまいの治療

1. 内視鏡下耳科手術 (TEES)
2. 自己血清点耳液による鼓膜穿孔閉鎖法
3. 突発性難聴に対する音楽療法
4. めまいに対する外来リハビリ治療 (慢性難治性めまい患者に対する外来集団リハビリ)

B. 鼻の治療

1. 内視鏡下副鼻腔手術 (ESS)
2. 鼻閉改善手術・アレルギー手術
3. 鼻手術に伴う術後の苦痛回避の工夫
4. 脳神経外科と協力した経鼻内視鏡下頭蓋底手術

C. 頭頸部腫瘍

1. 甲状腺腫瘍穿刺吸引細胞診
2. 甲状腺悪性腫瘍手術
3. Facelift切開による耳下腺手術

D. 顔面神経麻痺

1. 耳小骨連鎖を保存する顔面神経減荷術
2. 顔面神経麻痺に対するリハビリテーション
3. ボツリヌス毒素・ミラーバイオフィードバック併用療法

主な対象疾患

E. 顔面外傷

1. 吸収型プレートによる顔面骨整復術
2. 内視鏡による眼窩吹き抜け骨折整復術

F. 音声改善手術

1. 喉頭微細手術（ラリンゴマイクロサージャリー）
2. 甲状軟骨形成術
3. けいれん性発声障害に対する手術治療

G. 嚥下障害に対する手術

1. 嚥下機能改善手術
2. 誤嚥防止手術

診療実績（2023年）

手術内訳	件数
耳科手術	
鼓室形成術	12
経外耳道の内視鏡下鼓室形成術	16
鼓膜チューブ挿入術	29
顔面神経減荷術	3
先天性耳瘻管摘出術	4
鼓膜穿孔閉鎖術（一連につき）	28
外耳道悪性腫瘍手術	1
鼻科手術	
内視鏡下鼻・副鼻腔手術	257
鼻中隔矯正術	27
顎・顔面骨折整復術	2
鼻・副鼻腔良性腫瘍摘出術	10
口腔咽喉頭手術	
扁桃摘出術	92
アデノイド切除術	9
舌、口腔、咽頭腫瘍摘出術	1
口蓋垂・軟口蓋形成術	1
舌・口腔良性腫瘍摘出術	1
咽頭良性腫瘍摘出術	1
甲状舌管嚢胞摘出術	2
喉頭微細手術	18
嚥下機能改善、誤嚥防止、音声機能改善手術	10

手術内訳	件数
頭頸部手術	
頸部郭清術	8
顎下腺良性腫瘍摘出術	3
耳下腺良性腫瘍摘出術	12
甲状腺良性腫瘍摘出術	19
甲状腺悪性腫瘍摘出術	15
副甲状腺腺腫過形成手術	12
リンパ節生検	23
頸部嚢胞摘出術	1
顎下腺摘出術	1
唾石摘出術	2
異物摘出術（外耳・鼻腔・咽頭）	13
気管切開術	58
総計	691

医師紹介

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
かただ あきひろ 片田 彰博	部長	専門分野 ：聴力改善手術、遺伝性難聴、鼻科手術、 音声外科手術、嚥下機能改善手術 博士（医学） 耳鼻咽喉科専門医 耳鼻咽喉科専門研修指導医 補聴器相談医 耳科手術暫定指導医 鼻科手術暫定指導医 気管食道科専門医 頭頸部がん専門医 頭頸部がん指導医 臨床遺伝専門医 嚥下相談医 音声言語認定医 臨床研修指導医	平成4年
ながみね まさよし 長峯 正泰	部長	専門分野 ：難聴・めまい、顔面神経麻痺治療 医学博士（旭川医科大学2000年） 日本耳鼻咽喉科学会専門医 日本めまい平衡医学会認定めまい相談医 日本顔面神経学会認定顔面神経麻痺相談医 補聴器相談医	平成8年
たかばやし こうすけ 高林 宏輔	副部長	専門分野 ：眼窩ふきぬけ骨折手術、内視鏡下鼻科手術、 内視鏡下拡大副鼻腔手術、内視鏡下下垂体手術、 顔面外傷手術、甲状腺内視鏡手術 日本耳鼻咽喉科学会専門医 補聴器相談医 耳鼻咽喉科専門研修指導医 鼻科手術暫定指導医 Sigma Xi (米国科学研究名誉協会) 正会員	平成17年

診療予定表

(初診 午前8:00~11:00)

	月	火	水	木	金
初診	長峯	片田	休診*	高林	長峯
再診	高林	長峯	高林	片田	高林

◎緊急時にご連絡ください*

診療実績 (2023年1~12月)

項目	患者数
外来新患者数	1,000
外来延数	9,338
新入院数	646



診療科の概要

旭川市の基幹病院として、小児の救急を含む地域医療を担うとともに、日本小児科学会専門医3名の常勤医により小児のアレルギー疾患、成長障害、思春期発来異常を含めた内分泌疾患、肥満、糖尿病、発達障害、心理疾患、てんかんに対する医療を提供しています。

対象疾患

【食物アレルギー】

診断と除去食解除のための食物経口負荷試験を1年あたり100例以上実施しています。食物アレルギーでお困りの方や「とりあえずやめておく」と指導されている患者様は、ご相談ください。

【気管支喘息・長引く咳】

呼気一酸化窒素（FeNO）の測定、呼吸機能検査（スパイロ）、呼吸抵抗測定検査（モストグラフ）等による客観的な評価により、診断および治療効果の判定を行います。

【低身長・成長障害】

小児の成長障害や低身長の原因には多くの因子が関与しますが、その一つとして内分泌疾患があります。様々なホルモンや成長因子の異常による内分泌疾患を診療対象としています。乳幼児健診、学校健診、かかりつけ医からの紹介等で受診される場合には、母子手帳、幼稚園・保育園や学校の成長記録をご持参ください。

【思春期発来異常】 【その他の内分泌疾患】 【カルシウム・ビタミンD関連疾患】 【肥満、糖尿病、生活習慣病】

【発達障害】

小児神経科専門医が、発達の遅れ、自閉性スペクトラム障害、ADHD、学習障害などの発達の問題に対し、臨床心理士による各種発達知能検査を参考にしながら診断、治療を行っています。

【心理疾患】

登校しぶり、不登校など心理的な問題を抱えている子ども達に、子どものこころ相談医、子どものこころ専門医、日本小児精神神経学会認定医が臨床心理士とともに診療し、必要に応じて心理カウンセリングも実施しています。

【てんかん】

日本てんかん学会臨床専門医・指導医が、小児のけいれん性疾患やてんかんに対して、脳波や頭部画像検査などによる検査をもとに診断し、その子に適した治療法を提供しています。

医師紹介

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
もりた けいすけ 森田 啓介	部長	専門分野 ：小児科一般、小児感染症、小児アレルギー 医学博士 日本小児科学会専門医 日本小児科学会認定指導医	平成元年
むかい とくお 向井 徳男	部長	専門分野 ：小児科一般、小児内分泌・代謝、成長障害、 小児肥満 医学博士 日本小児科学会専門医・指導医 日本内分泌学会内分泌代謝科（小児科）専門医・指導医	平成2年
すわ きよたか 諏訪 清隆	部長	専門分野 ：小児科一般、小児神経、小児てんかん、小児 発達、小児心身症 医学博士 小児科専門医 認定小児科指導医 小児神経科専門医 日本てんかん学会臨床専門医 日本てんかん学会指導医 臨床遺伝専門医 日本小児精神神経学会認定医 子どもの心相談医 地域総合小児医療認定医 子どものこころ専門医 子どもとメディア認定インストラクター 日本小児科医会 子どもとメディア委員会委員 北海道小児科医会常任理事 子どものための心理的応急処置一日研修修了	平成3年

診療実績（2023年1～12月）

項目	患者数
外来新患数	878
外来延数	4,301
新入院数	173

診療予定表

（受付：8:00～11:30 13:30～15:00）

	月	火	水	木	金
午前（一般）	森田	諏訪	諏訪	向井	森田
午前（専門）	内分泌 （向井）	喘息・ アレルギー （森田）	喘息・ アレルギー （森田）	発達・心理 （諏訪）	内分泌 （向井）
	心臓 （出張医）				
午後（一般）	向井	向井	森田	森田	諏訪
午後（専門）	神経 （諏訪）	喘息・ アレルギー （森田）	発達・心理 （諏訪）	内分泌 （向井）	喘息・ アレルギー （森田）
	心臓 （出張医）				

- * 一般外来は予約不要ですが、各専門外来、予防接種、乳児検診は予約が必要です。
- * 慢性疾患の患者様のご紹介は、連携室を通していただくか、電話で、予めご相談いただければ幸いです。
- * 予防接種（一般外来担当医が診察） 9:00～11:00 13:30～15:00（月曜日は午後のみ）
- * 乳児検診 月曜日～金曜日 9:00～11:00 13:30～15:00

診療部長よりひとこと

小児科医3名が協力して診療にあたっています。先にあげた対象疾患に加え、感染症や小児救急などにも対応いたしますのでお気軽にご相談ください。地域医療を支えている先生に信頼のおける十分な医療ができるように頑張ります。（2024年6月）

診療科の概要

皮膚科は、昭和32年12月に皮膚泌尿器科として開設され昭和37年8月に独立、その後平成16年3月まで続きましたが、同年4月から平成22年9月まで閉鎖されておりました。しかしながら平成22年10月、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医が就任となり、診療が再開されました。平成23年6月から皮膚科専門医研修施設として機能しています。

市内の開業医療機関、旭川医科大学皮膚科と連携し、情報交換を行いながら質の高い医療提供に努めている他、市外医療機関からの診療依頼も積極的に受け入れています。

当科は、急性期医療を担う機関の一員としてその役割をにない、重症薬疹、皮膚軟部組織感染症（壊死性）、外傷、熱傷などを他科とも連携しながら対処しています。また、日本皮膚科学会から分子標的薬使用承認施設に認定されており、適応（下記）のある患者さんに必要に応じて導入を行っています。さらに、弾性ストッキング・圧迫療法コンダクターのに認定を受けたスタッフが外来に揃っていますので、静脈・リンパ環流障害による皮膚疾患にも積極的に対応しています。

道北医療圏において、皮膚科重症患者への対応が可能な施設は限られています。当科スタッフはその使命を受けて、診療に取り組んでいます。

主な対象疾患

- 全身症状（発熱、倦怠感、体重減少など）をともなう皮膚疾患：膠原病、血管炎、悪性リンパ腫感染症などが含まれます
- 皮膚悪性・良性腫瘍：手術を主体に、炭酸ガスレーザーや外用薬なども使用した治療を行っています
- 重症のアトピー性皮膚炎、乾癬、掌蹠膿疱症、壊疽性膿皮症、慢性膿皮症：分子標的薬の導入・維持に加え、慢性膿皮症については手術療法も実施している
- 慢性皮膚潰瘍：ASO、静脈性潰瘍、糖尿病性潰瘍など
- 帯状疱疹：重症患者に対する入院治療、痛みの治療（神経ブロックを含めた麻酔科的な対応はしていません）、発症予防のためのワクチン接種（条件があるため、希望される皆様すべてが任意接種できるわけではありません）

治療方針

1. 患者個々の特性に合ったゴールを目指す
2. 患者個々の病態解明に努める
3. 根拠に基づいた治療を標準とする

医師紹介

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
きのうち もとし 木ノ内 基史	院長補佐 部長	皮膚科専門医	昭和63年
まつや まりか 松谷 茉莉花	医師	専門分野：皮膚科	平成31年

診療予定表

初診（8:00～11:30）

月	火	水	木	金
木ノ内 松谷	木ノ内 松谷	松谷	木ノ内	木ノ内 (松谷)

* 木曜日は手術のため、入院・外来の診察申込（紹介）はお控えください。（緊急時を除く）

診療実績（2023年1～12月）

項目	患者数
外来新患者数	603
外来延数	8,769
新入院数	94

主な手術実績（2023年1～12月）

項目	件数
創傷処理	34
小児創傷処理	6
皮膚切開	79
デブリードマン	19
皮膚腫瘍摘出術（露出部）	23
皮膚腫瘍摘出術（露出部以外）	28
皮膚悪性腫瘍切除術	8
皮膚剥削術	8
分層植皮術	13

項目	件数
全層植皮術	1
皮弁作成術，移動術，切断術，遷延皮弁術	6
骨折非観血的整復術	1
断端形成術（軟部形成のみ）	1
断端形成術（骨形成を要す）	1
爪甲除去術	2
陥入爪手術	1
手掌異物摘出術	1
毛巣洞手術	1



前列左より木ノ内医師、松谷医師
後列 皮膚科外来スタッフ

診療科の概要

当科では眼科全般の診療を行っていますが、その中心は白内障などの手術で、手術の多くを入院診療で行っています。白内障手術は難症例を中心に行っています。水晶体脱臼、眼内レンズ脱臼に対する眼内レンズの強膜内固定も行っています。加齢黄斑変性や糖尿病黄斑浮腫、網膜静脈閉塞症などに対する抗VEGF薬硝子体注射治療は外来診療で行っています。当院の特徴は地域医療支援（急性期医療担当）と救命救急医療ですので、頭部・顔面外傷などの救命救急医療における眼科診療も重点のひとつです。眼科的救急疾患や全身疾患に関連する眼科診療にも即自対応しています。脳神経内科、脳神経外科、放射線科の協力のもと、神経眼科疾患の診療も行っています。なお、光線力学的治療、角膜移植手術・屈折矯正手術、多焦点眼内レンズ手術、コンタクトレンズの処方はありません。

医師紹介

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
おおた 太田 勲男	部長	専門分野 ：白内障手術、網膜硝子体 医学博士 日本眼科学会専門医 眼科PDT認定医 神経眼科上級相談医	昭和60年
かたおか のぶや 片岡 信也	副部長	専門分野 ：糖尿病網膜症の診断・治療、白内障手術、眼窩脂肪ヘルニア手術 日本眼科学会専門医	平成7年

診療実績（2023年1～12月）

項目	患者数
外来新患数	626
外来延数	10,894
新入院数	456

主な手術実績（2023年1～12月）

	2023年度
白内障	544
硝子体	69
網膜剥離	1
緑内障	1
その他	15
合計	630

診療予定表

（初診：午前8:00～11:00）

月	火	水	木	金
太田	太田		太田	片岡
片岡/出張医	片岡		片岡	出張医

診療部長よりひとこと

道北地方の眼科拠点のひとつとして、その使命を果たすよう努力してまいります。何卒ご協力をお願い申し上げます。

診療科の概要

現在、嘱託医2名で外来診療のみ行っております。
 対象は婦人科全般ですが、手術・入院症例には対応しておりません。

医師紹介

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
たまたま けんいち 玉手 健一	医師	専門分野 ：不妊症、婦人科悪性腫瘍手術、化学療法、婦人科 内視鏡手術、産婦人科内分泌医療、産科全般 日本産科婦人科学会認定医 日本母体保護法指定医 医学博士 ベストドクターズ	昭和58年
よしだ としあき 吉田 俊明	医師	専門分野 ：産婦人科	昭和60年

診療予定表

(午前8:00～11:00 月～木曜日13:30～15:00)

	月	火	水	木	金
婦人科①	玉手	玉手	玉手	玉手	玉手
婦人科②	吉田/出張医	吉田	吉田	吉田	
POP外来(午後)	担当医	担当医	担当医	担当医	

POP外来(骨盤臓器脱)

毎週月～木曜日 14:00～16:00(自由診療・完全予約制)

- ・一般外来受診日には混合診療となるので受けられません。
- ・詳細は病院ホームページ、診療科案内をご参照ください。

産後サポート・助産師外来

母乳外来(要予約)	平日(14時～16時) 料金 1回 2,200円(税込) *処方薬必要時は別途 内容 乳房マッサージ、乳腺炎疑い・授乳相談など
電話相談(予約不要)	平日(13時30分～16時) 無料 対象 産後1年まで
産後ケア【日帰り型】 (要予約)	対象 産後1年未満の母子 内容 お母さんの体力回復支援 授乳相談 育児相談など *詳細は病院ホームページ診療科案内をご参照ください
産婦健診(要予約)	*希望時は外来へお電話にてご相談をお願いします
更年期相談外来(要予約)	平日(14時～16時) *詳細は病院ホームページ診療科案内をご参照ください

問い合わせ先：産婦人科外来 22-8111 9:00～16:00

診療科の概要

当科は地元歯科医師会との役割分担を明確にし、基本的には一般歯科治療(むし歯や歯周病の治療、義歯の作製など)は治療が必要である入院患者のみとし、歯科ならび医科の診療所などからの紹介患者を中心に診療し、病診連携を強め、地域の歯科医療機関との共存共栄を目指しています。

診療内容は親知らずの抜歯をはじめ、顎変形症、顎顔面外傷、口腔の良性・悪性腫瘍、嚢胞、感染症、唾液腺疾患、顎関節疾患などの口腔外科的疾患を幅広く行っています。

2012年度からチーム医療の推進の一環として周術期の口腔機能管理が導入されました。当院でもSCU入室患者の口腔ケア、脳神経外科、外科、心臓血管外科の手術前の口腔ケア、化学療法を行っている患者の口腔ケアを行っております。

対象疾患

口腔腫瘍、顎変形症、顎顔面外傷、口腔粘膜疾患、埋伏智歯、炎症性疾患 など

医師紹介

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
おかだ ますひこ 岡田 益彦	部長	専門分野 ：口腔外科全般 日本口腔外科学会専門医・指導医 日本口腔科学会認定医・指導医 臨床研修指導歯科医 日本口腔ケア学会3級認定 日本がん治療認定医機構がん治療認定医	平成14年
むらい ちか 村井 知佳	医師	専門分野 ：歯科口腔外科、口腔内科 歯学博士 日本口腔外科学会認定医 日本口腔外科学会専門医	平成18年
かわばた まこ 川端 麻瑚	医師		令和5年
いけはた まさひろ 池畑 正宏	医師		昭和46年

診療予定表

(初診 8:00~11:00)

月	火	水	木	金
岡田	岡田	岡田	岡田	岡田
村井	村井	村井	村井	村井
川端	川端	川端	川端	川端

診療部長よりひとこと

歯科口腔外科部長の岡田益彦です。

私は旭川赤十字病院には3度目の赴任で、今回は2013年4月より勤務し、私が働き始めてトータルで一番在籍期間が長い病院になりました。

初代部長の池畑先生、前部長の嶋津先生は口腔外科のオールラウンダーで、目標の先生です。

偉大な先生方の後を継ぎ、私はまだまだ未熟ものですが、当科を今までと変わらず、またさらに発展できるように今後も努力していきたいと思っております。

連携医療機関の皆様にはいつも大変お世話になっており、感謝しております。今後ともよろしくお願いたします。



写真 口腔外科外来

診療・手術実績

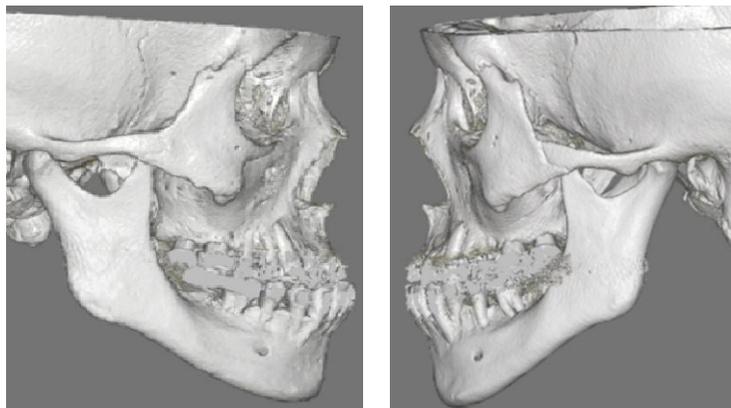
2023年 (1～12月)

項目	患者数
外来新患数	2,665
外来延数	10,618
新入院数	375

項目	患者数
外来手術件数	1,438
全身麻酔手術件数	301

主な手術実績	患者数
悪性腫瘍手術	19
再建	2
上顎骨形成術	13
下顎骨形成術	32
顎骨骨折観血的手術	5
顎骨腫瘍摘出術	40

写真 下顎前突症



術前

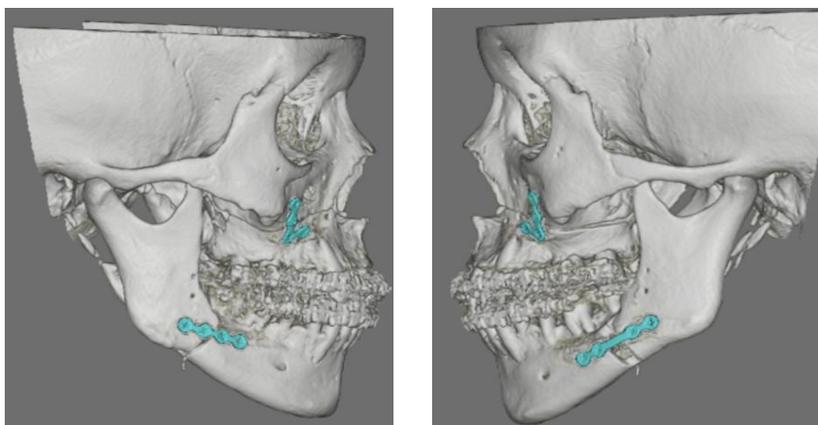


写真 上下顎骨形成術後

写真 進行した舌がん



舌の約1/2を切除



前腕皮弁で舌を再建

診療科の概要

- 当科は、2006年4月に新規診療科として稼動し、発足より約18年が経過しました。スタッフは2名であり、院内外の放射線画像診断、IVRを中心とした業務を行っております。
- 画像診断業務はCT、MRIを中心としており、一部、核医学、超音波検査も含んでおります。IVRは各診療科の依頼により腹部を中心とした血管造影、止血手技、CT/USガイド下穿刺、CVポート留置等を行っています。
- 画像診断領域における診断機器の進歩は極めて早く、ほぼ数年ごとのサイクルで、最新機器が出現していますが当院では、X線CT装置2台（320列MDCT、64列 dual energy CT）、MRI装置3台（1.5T、3T）、ガンマカメラ2台、血管造影装置2台、超音波検査装置4台、RIS、PACS、読影ビューワー等が完備しています。現時点で最先端の画像診断機器、読影環境が導入され、時代に先駆けた画像診断を行っております。

医師紹介

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
ながさわ けんいち 長沢 研一	部長	専門分野 :IVR、画像診断 日本医学放射線学会専門医 日本IVR学会専門医 放射線取扱主任者一種	平成9年
たかだ ようこ 高田 陽子	副部長	専門分野 :放射線診断・IVR 放射線診断専門医 核医学専門医・PET核医学認定医 放射線学会研修指導者	平成16年

診療科の概要

地域連携科は地域の医療機関から旭川赤十字病院への患者紹介を円滑に行うために設置されました。これまで地域連携ホットラインは救急外来で受けておりましたが、2024年度より総合診療科の外来担当医師が対応するに体制に変更となりました。診療科選択にお困りの症例などがございましたら、ぜひご相談していただければと思います。

地域連携ホットライン 080-5595-9191

以下の場合にご利用ください。 《 対応時間 平日 8 : 30 ~ 17 : 00 》

- 救急ではないが、早く紹介したい
 ※救急を要する場合は救命救急ホットラインへお願いします
- どの診療科に紹介してよいかわからない
- その他（患者紹介のことで相談したい等）

医師紹介

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
こうだ 幸田 きゆうへい 久平	医師	専門分野 :1.消化器癌、血液癌の化学療法 2.造血幹細胞移植（骨髄移植・末梢 血幹細胞移植・臍帯血移植） 3.末期癌の緩和医療（終末期医療） 札幌医科大学医学博士	昭和52年
くにもと 國本 まさゆき 雅之	医師	専門分野 : 脳神経外科、脳卒中 日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医	昭和59年

地域連携ホットライン担当科（総合診療科担当科）

月	火	水	木	金
糖尿病・内分泌内科	健診センター	糖尿病・内分泌内科	糖尿病・内分泌内科	腎臓内科

医師紹介

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
おぼた まさひこ 小幡 雅彦	部長	専門分野 ：外科病理学、腫瘍病理学 日本病理学会病理専門医研修指導医 日本臨床細胞学会認定細胞診専門医 日本病理学会認定病理専門医 医学博士 日本専門医機構認定病理専門医 日本臨床細胞学会教育研修指導医 日本バイオインフォマティクス学会 認定バイオインフォマティクス技術者	平成6年
きくち ともき 菊地 智樹	部長	専門分野 ：外科病理学 病理専門医研修指導医	平成13年

病理組織診断 受託のご紹介

地域医療施設の先生方の病理組織診断（標本作製から病理組織診断まで）を、平成27年1月5日依頼分より当院病理診断科にて受託する運びとなりましたので、ご紹介させていただきます。

当科は病理専門医2名を常勤とし、迅速かつ質の高い診断を心掛けております。また【たいせつ安心医療ネット】に同意されている患者さまにとっては、郵送よりも早く結果の閲覧が可能というメリットもございます。ご検討くださいますようお願い申し上げます。

なお、現時点においては市内登録医限定とさせていただきます。また、患者さまからのセカンドオピニオン等の直接申し込み・持参は受け付けておりません。当院受診歴のない患者様に関しては、手続き上新規にカルテ発行の必要があるため、当院診察券を結果報告書と共に発送致します。あらかじめご了承ください。

① 診断病理医（病理専門医）

小幡 雅彦、菊地 智樹

② 受託対象

生検材料を主に受託致します（2015.01現在、市内登録医限定とさせていただきます）

* それ以外の手術材料につきましてはご相談下さい。

③ 提出方法

検体（10～20%ホルマリンに検体を入れた容器*注1）と病理組織診断申込書（ホームページよりダウンロード可能です）を、当院地域医療連携室へ発送ないし直接ご持参下さい。

【発送先】〒070-8530 旭川市曙1条1丁目1番1号 旭川赤十字病院 地域医療連携室

（次ページへ続く）

病理組織診断 受託のご紹介 (つづき)

④ 報告日数および方法*注2

たいせつ安心i医療ネットでの閲覧の場合：3日*注3 郵送の場合：5日

*いずれも、検体当院受取後（土日祝日除く）。

最終的には全て紙の報告書を発送し、新規にカルテ作成された患者様には診察券を発行致します。

⑤ 費用

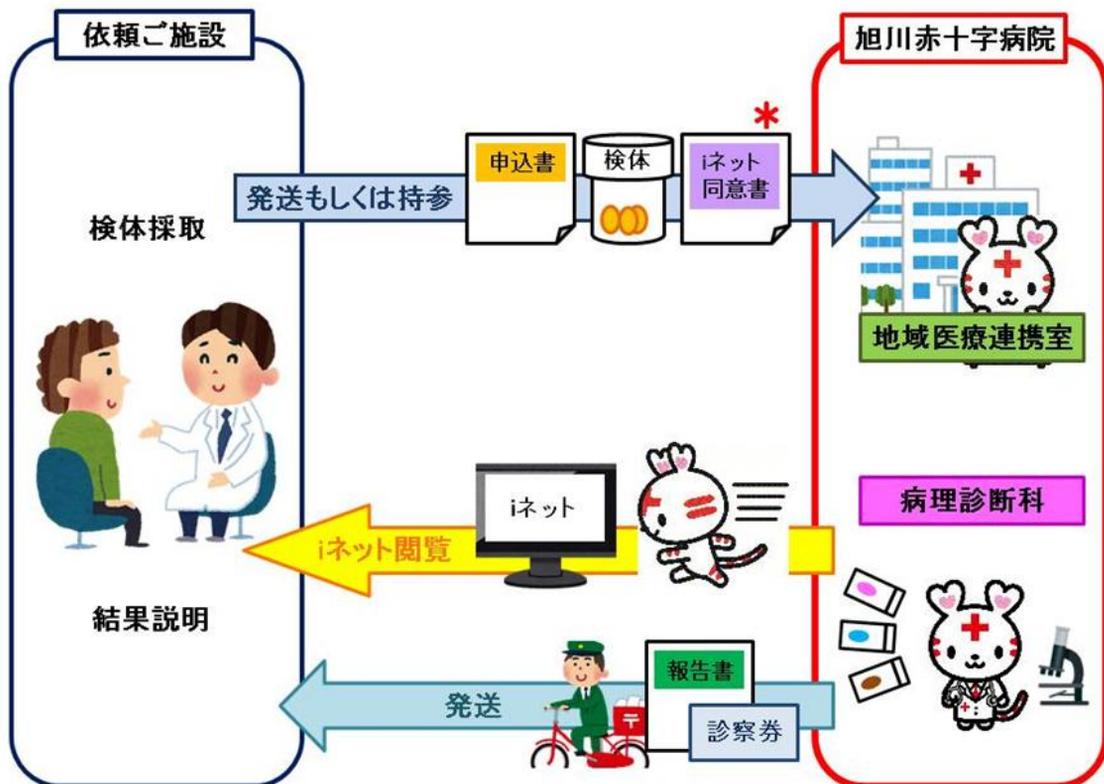
各医療機関は、各月分を当院へお支払いいただきます。*注4

注意事項

1. 病理組織診断は凍結された組織ではできません（冬期間の発送にはご注意ください）提出された検体は原則返却致しません。検体はパラフィンブロックにて、当院で永久保存いたします。
2. 免疫染色、脱脂処理、脱灰処理が必要な場合には、上記報告日数よりも時間を要します。
3. たいせつ安心i医療ネットの同意を得ている患者様に限ります。
4. 診断を実施する上で、H E染色および特殊染色以外に各種染色・免疫染色などが必要となった場合は、追加料金（免疫染色病理組織標本作製料および加算）が発生することがありますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先

旭川赤十字病院 病理診断科 0166-22-0102（直通）



* iネット同意書は、iネット結果閲覧希望の場合、必要となります。

医師紹介

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
あいのまこ 四十物 摩呼	部長	専門分野 ：臨床麻酔、救急集中治療 日本麻酔科学会専門医・指導医 麻酔科標榜医	平成5年
とびせふみのり 飛世 史則	部長	専門分野 ：臨床麻酔、救急・集中治療 麻酔科標榜医 日本麻酔科学会指導医 日本集中医学会専門医	平成11年
はしづめゆうすけ 橋詰 勇祐	副部長	麻酔科標榜医	平成24年
おおめまゆきよ 大沼 幸代	医師	日本麻酔科学会専門医 麻酔科標榜医	平成10年
なかじまひろたか 中島 弘貴	医師	専門分野 ：臨床麻酔 麻酔科専門医	平成29年
きんたかこうすけ 金高 弘典	医師	専門分野 ：手術麻酔 麻酔科認定医	平成30年
まつのひでたろう 松野 秀太郎	医師	専門分野 ：麻酔科 麻酔科標榜医 J-RACE	平成31年
あさいまさたか 浅井 政貴	医師	専門分野 ：手術麻酔	令和2年
かがちなみ 加賀 千奈美	医師	専門分野 ：麻酔科	令和2年
やまさきたけみち 山崎 偉道	医師		令和3年
さいとうたいすけ 齊藤 太亮	医師		令和4年

医師紹介

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
こばやし いわお 小林 巖	副院長 救命救急 センター長	専門分野 ：救急・集中治療 日本麻酔科学会指導医 日本救急医学会専門医 麻酔科標榜医 日本集中治療学会専門医 札幌医科大学医学博士 I C L S インストラクター 日本DMAT 隊員 F C C S インストラクター インфекションコントロールドクター（I C D） M C L S インストラクター 病院総合医	昭和62年
かわた だいすけ 川田 大輔	部 長 集中治療室 責任者	専門分野 ：救急医学、集中医学、麻酔 日本救急医学会専門医 日本集中治療医学会専門医 日本麻酔科学会専門医	平成14年
とうじま ひろやす 東嶋 宏泰	医 師	専門分野 ：一般外科、救急、Acute Care Surgery 外科専門医 緩和ケア研修会修了 Certificate of da Vinci System Training As a First Assistant	平成28年

旭川赤十字病院ホットラインのご案内

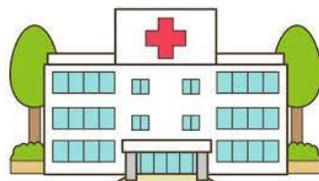
当院では、専任の医師によるホットラインを設置しております。
以下の場合にご利用ください。

医療機関様



- 救命救急ホットライン
- 脳卒中・脳疾患ホットライン
- 地域連携ホットライン
- 各診療科医師への電話

旭川赤十字病院



救命救急ホットライン 090-827-XXXX

- 救命救急センター医が24時間対応いたします

脳卒中・脳疾患ホットライン

070-6607-XXXX

《24時間対応》

- 脳卒中では迅速な初期対応が重要です
- 疑い症例も含め、迷った場合も躊躇せずご利用ください
- すべて断ることなく、対応させていただきます

地域連携ホットライン 080-5595-XXXX

以下の場合にご利用ください。 対応時間 平日 8:30～17:00》

- 救急ではないが、早く紹介したい
- どこの診療科に紹介してよいかわからない
- その他（患者紹介のことで相談したい等）

- 各ホットラインは医師から医師への連絡を目的に設置しております。
患者さまにお知らせすることがないようご協力の程よろしくお願いいたします。

地域医療連携室では、ご紹介いただく患者様のFAX予約を実施しております。事前に診療情報提供書をいただくことにより、当日の待ち時間の短縮に努めております。

① 診療予約申込書に

必要事項をご記入ください。

※ホームページから
ダウンロードできます。



② 地域医療連携室まで

FAXをお願いいたします。

※診療情報提供書も
併せてFAX願います。



③ 日時が決定したら、地域

医療連携室より「受診日
程のご連絡」をFAX送信
いたします。



④ 診療情報提供書の原本を

患者様にお渡しの上、受
診当日にご持参ください。



注意事項

1. お申込みいただいてから(FAX確認後)15分程度で診療日時をご連絡いたします。
2. 受付時間は平日8:30~16:30となっております。受付時間外にお申込みいただいた場合、当院からの返信は翌日または休診日明けの返信となりますのでご了承ください。
3. 診療科によっては、日程の調整に時間がかかる場合がございます。また、お申込みの内容によっては、追加情報を依頼する場合がございますので、予めご了承ください。この場合、当室よりご担当者様に連絡いたします。
4. 当院からの返信が確認できない場合は、お手数ですが地域医療連携室までご連絡ください。
5. 受診日前日までに診療情報提供書の作成をお願いいたします。診療情報提供書作成後は、地域医療連携室までFAXのうえ、原本は当日患者さんに持参させてください。

旭川赤十字病院 診療予約申込書（FAX専用）

〒070-8530

申込年月日 年 月 日

旭川市曙1条1丁目1番1号

紹介元

地域医療連携室 宛

F A X : 0166-22-8287（直通）

T E L : 0166-22-8133（直通）

〈受付時間〉 8:30~16:30

〈休診日〉 土日・祝日

12月29日~1月3日

5月1日（開院記念日）

住 所： 〒

医療機関名：

主 治 医：

T E L：

F A X：

担 当 者：

患者情報 ※患者番号がわかる場合は番号と患者氏名のみ記入で構いません。

旭川赤十字病院 受診歴	あり			患者番号（ - ）	なし	不明	
フリガナ			男 女	生年月日	大・昭 平・令 年 月 日（ 歳）		
患者氏名	様						
住所	〒			電話番号	— —		
希望診療科				希望医師がいる場合 医師			
希望日時	第1希望	月	日	時頃	第2希望	月 日 時頃	希望なし
患者の状況	<input type="checkbox"/> 外来で返事を待っている <input type="checkbox"/> 帰宅済み <input type="checkbox"/> その他（ ）						

診療情報提供書

傷病名	
依頼目的	
既往歴及び 家族歴	
経 過	
現在の処方	

この用紙が診療情報提供書の原本となりますので、患者様に持参させてください。

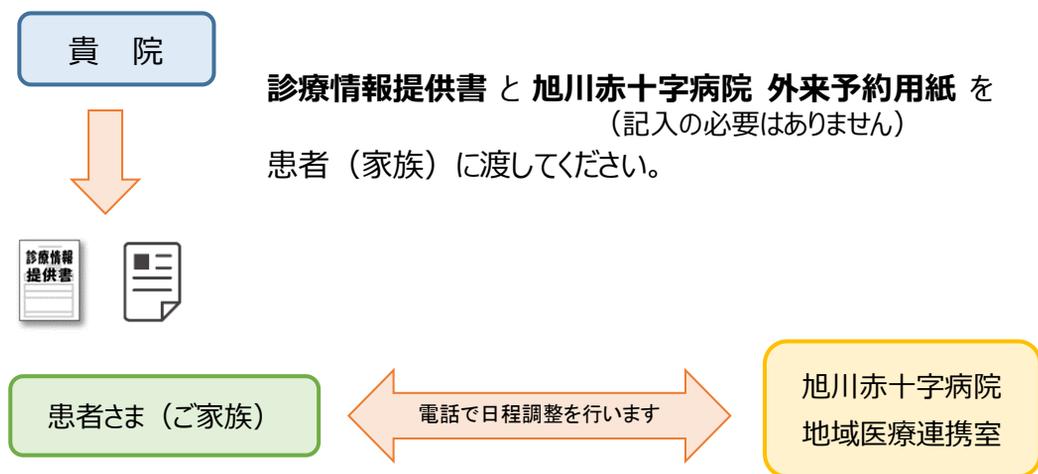
患者（家族）からの外来診療予約について

従来のFAXでの診療予約申込の他、患者さま（家族）から電話での予約が可能となりました。

《予約可能な診療科》（2024年1月現在）

- 耳鼻咽喉科 ●形成外科 ●呼吸器外科 ●皮膚科

《患者（家族）による電話予約の流れ》



患者（家族）は

- ①外来予約用紙に必要事項を記入する。
- ②当院 地域医療連携室 専用ダイヤル 0166-76-9836 に電話をかける。
- ③地域医療連携室と日程調整を行い、外来受診を決定する。

* 診療情報提供書が手元に無い場合でも、電話予約を承りますが、
受診時に必ず診療情報提供書を持参させてください。

* 従来のFAXによる外来診療予約も可能です。

【問合せ先】
旭川赤十字病院 地域医療連携室
Tel 0166-22-8133(直通)

旭川赤十字病院 外来 予約用紙

《患者さんご自身（もしくはご家族）が当院に電話をして受診日の予約をする場合に使用》

* 当院の下記診療科あての紹介状（診療情報提供書）がお手元にある方（記載予定）が予約可能です。

《予約可能な診療科》

耳鼻咽喉科、形成外科、呼吸器外科、皮膚科

下記太枠の情報を記入のうえ、予約専用ダイヤル 0166-76-9836 に電話をかけてください。

◎受付時間 平日 9:00 ~ 16:00

旭川赤十字病院 受診歴	あり 患者番号 () ・ なし ・ 不明		
紹介状（診療情報提供書）を書いていただいた医療機関名			
フリガナ 患者氏名	様 男女	生年月日	大・昭 平・令 年 月 日 (歳)
住所	〒		電話番号 - -

* 予約が決まりましたら、予約日と予約時間を記入してください。

外来受診日	月 日 () :
-------	------------------------------------

《当日は来院時間までにお越しいただき、1階の受付カウンター

②外来受付（紹介状をお持ちの方）で受付をしてください。》

《当日持参していただくもの》

- ・この予約用紙
- ・紹介状（診療情報提供書）
- ・健康保険証
- ・お薬手帳（持っている方）
- ・各種認定書など

* 受診当日、紹介状（診療情報提供書）を持参されなかった場合、選定療養費として8,800円(税込)をお支払いいただく場合がございます。

旭川赤十字病院 地域医療連携室
電話 0166-76-9836（外来予約専用）
FAX 0166-22-8287

* ご不明な点、予約日の変更希望等があれば、予約専用ダイヤルにてお受けいたします。

例

旭川赤十字病院 診療予約申込書 (FAX専用)

〒070-8530

申込年月日 **2024年 5月 10日**

旭川市曙1条1丁目1番1号

地域医療連携室 宛

F A X : 0166-22-8287 (直通)

T E L : 0166-22-8133 (直通)

〈受付時間〉 8:30~16:30

〈休診日〉 土日・祝日

12月29日~1月3日

5月1日(開院記念日)

紹介元

住所: 〒

医療機関名:

主治医:

T E L :

F A X :

担当者:

紹介元情報を記入してください。
※ご担当者様のお名前も
忘れずにご記入お願いします。

患者情報 ※患者番号がわかる場合は番号と患者氏名のみ記入で構いません。

旭川赤十字病院 受診歴	<input checked="" type="checkbox"/> あり	患者番号 ()	なし	不明
フリガナ	ニッセキ タロウ		男	大・昭
患者氏名	日赤 太郎		月日	55年 5月 1日(41歳)
住所	〒070-8530 旭川市曙〇条〇丁目		〇-〇〇〇〇	
希望診療科	消化器内科		希望医師がいる場合	医師
希望日時	第1希望	6月 1日 時頃	第2希望	6月 8日 時頃
希望なし	希望なし			
患者の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 外来で返事を待っている <input type="checkbox"/> 帰宅済み <input type="checkbox"/> その他			

診療情報提供書

受診希望日、もしくは都合の悪い
お日にちをご記入ください。
希望日がない場合は、希望なし
に〇をつけてください。

診療情報提供書を添付いただければ、記載不要です。

複数の診療科の予約申込をする場合は、科ごとに診療情報
提供書を作成・事前FAXをお願いします。

傷病名	
依頼目的	
既往歴及び 家族歴	
経過	
現在の処方	

この用紙が診療情報提供書の原本となりますので、患者様に持参させてください。

当院が所有する医療機器を地域の医療機関の先生方に活用していただくことを目的に、高度医療器の共同利用を行っております。当院で検査のみを行い、検査結果と放射線科医の読影レポートを原則検査翌日に依頼元の医療機関へ発送しております。また、異常があり緊急対応が必要な場合、当院で処置し、依頼元へ直ちに結果報告を行っております。当院の高度医療機器を活用し、地域の先生方にお役立ていただければ幸いです。是非、この機会に共同利用をご活用ください。

①

共同利用申込書に

必要事項をご記入ください。

※ホームページからダウンロードできます。

※造影剤を使用する検査をご希望の場合は

造影検査同意書(チェックリスト)・造影検査説明

書のご記入と併せてFAXをお願いいたします。



② 地域医療連携室まで

FAXをお願いいたします。

※診療情報提供書も

併せてFAX願います。



③ 検査日時が決定したら、地

域医療連携室より「検査日

程のご連絡」をFAX送信い

たします。



④

診療情報提供書の原本を

患者様にお渡しの上、検査

日当日にご持参ください。



注意事項

1. お申込みいただいてから（FAX確認後）15分程度で検査日時をご連絡いたします。
2. 受付時間は平日8：30～16：30となっております。受付時間外にお申込みいただいた場合、当院からの返信は翌日または休診日明けの返信となりますのでご了承ください。
3. 検査内容によって、日程の調整に時間がかかる場合がございます。また、お申込みの内容によっては、追加情報を依頼する場合がございますので、予めご了承ください。この場合、当室よりご担当者様に連絡いたします。
4. 当院からの返信が確認できない場合は、お手数ですが地域医療連携室までご連絡ください。
5. 検査日前までに診療情報提供書の作成をお願いいたします。診療情報提供書作成後は、地域医療連携室までFAXのうえ、原本は当日患者さんに持参させてください。
6. 造影検査をご希望の場合は、申込時に造影検査説明書(チェックリスト)と造影検査説明書を併せてFAXのうえ、原本は当日患者さんに持参させてください。

例

旭川赤十字病院 共同利用申込書 MRI (FAX専用)

〒070-8530

申込年月日 **2021年 5月 15日**

旭川市曙1条1丁目1番1号

地域医療連携室 宛

FAX : 0166-22-8287 (直通)

TEL : 0166-22-8133 (直通)

〈受付時間〉 8:30~16:30

〈休診日〉 土日・祝日

12月29日~1月3日

5月1日(開院記念日)

紹介元

住所 〒

医療機関名

主治医

TEL :

FAX :

担当者

紹介元情報を記入してください。
 ※ご担当者様のお名前も
 忘れずにご記入お願いします。

患者情報 ※患者番号がわかる場合は番号のみ記入いただき、患者情報の記入は不要です。

旭川赤十字病院 受診歴	<input checked="" type="checkbox"/> あり	患者番号 ()	なし・不明
フリガナ 患者氏名	ニッセキ 知ウ 日赤 太郎	様 <input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	大・昭 平・会 55年 5月 1日 (41歳)
住所	〒070-8530 旭川市曙〇条〇丁目〇	患者番号がわかる場合は番号と 患者氏名のみ記入で構いません。	

該当箇所にご記入をお願いします。

傷病名	診療情報提供書を添付いただければ、記載不要です。		
依頼目的			
希望日時	第1希望 6月 1日 時頃	第2希望 6月 3日 時頃	以外 希望なし <input checked="" type="checkbox"/>
直近1か月の 他院受診歴	外来受診: 無・ <input checked="" type="checkbox"/> 有 (医療機関名: 〇〇クリニック)	入院: 無・ <input checked="" type="checkbox"/> 有	受診日: 5月 1日

該当箇所にご記入をお願いします。

読影	<input checked="" type="checkbox"/> 要 ・ 不要	読影の要・不要、造影の無・有については必ず該当箇所にご記入ください。 ※造影有の場合は「造影検査同意書(チェックリスト)」と「造影検査説明書」を併せてFAX及び、①~③のチェックをお願いいたします。
造影	<input checked="" type="checkbox"/> 無 ・ 有	
部位	<input checked="" type="checkbox"/> 脳 頸椎 胸椎 腰椎	体内金属が判明した場合は検査を中止する場合がございますので、問診内容の確認をお願いいたします。 ⑤~⑧で有の場合は撮影可能かの確認をお願いします。
問診	★下記の項目(①~⑧)について ①心臓ペースメーカー ③磁力で装着する義眼 ⑤体内金属や精密機械 ~ 人工弁・脳動脈瘤クリップ・V-P(L-P)シャント・人工関節・髄内釘 スtent・外傷による金属(鉄片や銃弾等)・置き針・避妊リング・その他() ⑥一週間以内に内視鏡での胃腸のポリープ切除あるいは止血処置 ⑦歯科インプラント ⑧入れ墨(タトゥー)やアートメイク(まゆ毛、アイライン等)※脱色、やけど、皮膚の炎症を起こす可能性があります。	
注意事項	1.MRIが使用できない体内金属が判明した場合は検査を中止することがあります。 2.上記①~④で「有」の場合、MRI検査はできません。 3.上記⑤~⑧で「有」の場合、MRI検査の可否について事前に確認願います。 撮影不可とされた場合、予約は出来ません。	

例

旭川赤十字病院 共同利用申込書 (FAX専用)

CT・RI・超音波・生理機能検査

〒070-8530

申込年月日 2021年 5 月 15 日

旭川市曙1条1丁目1番1号

地域医療連携室 宛

FAX : 0166-22-8287 (直通)

TEL : 0166-22-8133 (直通)

〈受付時間〉 8:30~16:30

〈休診日〉 土日・祝日

12月29日~1月3日

5月1日 (開院記念日)

紹介元

住所 〒

医療機関名

主治医:

TEL:

FAX:

担当者:

紹介元情報を記入してください。
※ご担当者様のお名前も
忘れずにご記入お願いします。

患者情報 ※患者番号がわかる場合は番号のみ記入いただき、患者情報の記入は不要です。

旭川赤十字病院 受診歴	<input checked="" type="checkbox"/> あり	患者番号 ()	なし・不明
フリガナ 患者氏名	ニッセキ 知ウ 日赤 太郎	様 <input checked="" type="checkbox"/> 男 生 日	大・昭 平・金 55年 5月 1日 (41歳)
住所	〒 070-8530 旭川市曙〇条〇丁目〇		〇〇〇〇

患者番号がわかる場合は番号と
患者氏名のみの記入で構いません。

該当箇所にご記入をお願いします。

傷病名	診療情報提供書を添付いただければ、記載不要です。		
依頼目的			
希望日時	第1希望 6月 1日 時頃	第2希望 6月 3日 時頃以外	希望なし
直近1か月の 他院受診歴	外来受診: 無・ <input checked="" type="checkbox"/> 有 (医療機関名:) 入院: 無・ <input checked="" type="checkbox"/> 有 ()		

受診希望日、もしくは都合の悪いお日にちを
ご記入ください。希望日がない場合は、希望なし
に〇をつけてください。

該当箇所にご記入をお願いします。

読影	<input checked="" type="checkbox"/> 要	不要
造影	<input checked="" type="checkbox"/> 無	有

読影の要・不要、造影の無・有については
必ず該当箇所にご記入ください。

※造影有の場合は「造影検査同意書(チェックリスト)」と「造影検査説明書」を併せてFAX及び、①~③のチェックをお願いいたします。

希望の検査項目・部位に〇を

検査項目	
CT	<input checked="" type="checkbox"/> 頭部 <input checked="" type="checkbox"/> 頸部 <input checked="" type="checkbox"/> 胸部 胸腹部(胸~骨盤) 腹部(肝~骨盤) その他()
RI	骨シンチ(体重:) ガリウムシンチ(体重:) 脳血流SPECT DATスキャン 甲状腺Tcシンチ その他()
超音波	頸部 腹部(部位:)
生理機能検査	脳波 肺機能検査 生理機能検査は、検査結果のみとなります。

旭川赤十字病院 予約申込時の注意事項

〈診療予約申込について〉

- 1.申込時は、**診療予約申込書の太枠内**に必要事項を記入し、地域医療連携室までFAXをお願いいたします。
- 2.当院の患者番号がわかる場合は、**患者番号と患者氏名のみ**記入いただき、**患者情報の記入は不要**です。
- 3.**重要：呼吸器内科、血液・腫瘍内科**を予約する場合、**診療情報提供書も同時にFAX**してください。
- 4.お申込みの内容によっては、追加情報をご依頼する場合があります。（担当者様にご連絡いたします）
- 5.予約日時が決まりましたら、FAXで返信いたします。
平日受付時間内の場合は、**FAX確認後15分程度**の時間を要します。
平日受付時間外（金曜除く）の場合は、**翌日の返信**となります。
金曜時間外、休診日の場合は、**休診日明けの返信**となります。
- 6.当院からの**返信が確認できない場合**、お手数ですが**地域医療連携室までお電話**をお願いします。
- 7.**受診日前までに診療情報提供書の作成**をお願いいたします。
 診療情報提供書作成後は**地域医療連携室にFAX**のうえ、原本は当日患者さんに持参させてください。

〈共同利用予約申込について〉

- 1.申込時は、**共同利用申込書の太枠内**に必要事項を記入し、地域医療連携室までFAXをお願いいたします。
- 2.当院の患者番号がわかる場合は、**患者番号と患者氏名のみ**記入いただき、**患者情報の記入は不要**です。
- 3.お申込みの内容によっては、追加情報をご依頼する場合があります。（担当者様にご連絡いたします）
- 4.予約日時が決まりましたら、FAXで返信いたします。
平日受付時間内の場合は、**FAX確認後15分程度**の時間を要します。
平日受付時間外（金曜除く）の場合は、**翌日の返信**となります。
金曜時間外、休診日の場合は、**休診日明けの返信**となります。
- 5.当院からの**返信が確認できない場合**、お手数ですが**地域医療連携室までお電話**をお願いします。
- 6.**検査日前までに診療情報提供書の作成**をお願いいたします。
 診療情報提供書作成後は**地域医療連携室にFAX**のうえ、原本は当日患者さんに持参させてください。
- 7.**造影検査**を希望の場合は、申込時に**造影検査同意書(チェックリスト)**と**造影検査説明書**を併せてFAXのうえ、原本は当日患者さんに持参させてください。

〈共同利用予約時間一覧〉

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
CT・MRI	11:00～ 11:30	15:00～ 15:30	11:00～ 11:30	×	11:00～ 11:30	15:00～ 15:30	11:00～ 11:30	15:00～ 15:30	11:00～ 11:30	×
RI	骨シンチ	11時頃注射 (14時頃撮影)	×	×	11時頃注射 (14時頃撮影)	×	11時頃注射 (14時頃撮影)	×	×	×
	腫瘍シンチ ガリウムシンチ	○ (注)	○ (注)	○ (注)	○ (注)	○ (注)	○ (注)	○ (注)	○ (注)	○ (注)
	脳血流 スベクト	×	11:00～ 11:45	×	×	×	×	×	11:00～ 11:45	×
	DATスキャン	12時頃注射 (15時頃撮影)	×	×	12時頃注射 (15時頃撮影)	×	12時頃注射 (15時頃撮影)	×	×	×
超音波 (腹部・甲状腺)	12:00頃	11:00頃	12:00頃	12:00頃	12:00頃	11:00頃	11:00頃	11:00頃	11:00頃	
脳波	9:00～15:00	9:00～15:00	9:00～15:00	9:00～15:00	9:00～15:00	9:00～15:00	9:00～15:00	9:00～15:00	9:00～15:00	
肺機能検査	9:00～11:00	9:00～11:00	9:00～11:00	9:00～11:00	9:00～11:00	9:00～11:00	9:00～11:00	9:00～11:00	9:00～11:00	
検査可能人数/日	4名	3名	4名	4名	4名	3名	4名	4名	3名	

- ・予約時間は当日の検査状況によって多少お待ちいただく場合がございます。
- ・詳しくは地域医療連携室までお問い合わせください。

(注)時間は要相談となります。

当院では、地域の医療機関の先生方にお役立ていただけるよう開放型病床を5床確保しております。ご利用を希望される場合は、地域医療連携室までご連絡いただきますようお願いいたします。

開放型病床の流れ

1. 開放ベッドの入院を希望される場合は、地域医療連携室までお電話にてご連絡ください。当日の担当医におつなぎいたします。
※受付時間は平日8時30分～17時00分まで
2. 患者さんは紹介状専用受付にて受付後、診察を行い診療科を決定し入院いたします。
3. 診療は当院医師と紹介元の先生と共同で行います。
4. 翌日以降の入院の継続もしくは、退院の決定についても当院医師と紹介元の先生と共同で行います。

① 地域医療連携室まで
ご連絡ください。



② 患者さんは当院で受付後
担当の診療科で診察を行
い入院いたします。



③ 入院後は当院医師と紹
介元の先生と共同で診
療を行います。



旭川市内の全ての公的病院が情報提供施設となり、地域内での情報の共有、救急医療での情報利用を目的とした地域医療ネットワークです。ネットワークに参加された医療機関では、情報提供施設における電子カルテ等の診療情報を、インターネットの介して閲覧することができます。

たいせつ安心i医療ネットをご利用いただくには、当ネットワークシステムへのご入会が必要となります。お申込みについては下記のたいせつ安心i医療ネット事務局までお問い合わせください。

お問い合わせ先

旭川市医師会（たいせつ安心i医療ネット協議会事務局）

〒070-0029 旭川市金星町1丁目1番50号

TEL 0166-23-5728

FAX 0166-24-5444

E-mail : t-ansin-i-net@ahmic21.ne.jp



医療支援センターは入院前から退院支援に向けての対応をはじめ退院後の支援も一元的に実施すること、入退院を繰り返す患者様が、安心して在宅療養ができるサポート体制を作るために入院支援室、地域医療連携室、訪問看護ステーションの3つの部署から組織されています。

入退院支援室

入退院支援室は、患者様が安心して入院・治療し退院を迎えられるように支援するところです。患者様一人ひとりの身体的、精神的、社会的、経済的背景を理解し、入院前から退院後の生活を見据えて、療養移行や社会復帰を支援いたします。

入退院支援室では皆様が安心して治療に専念していただけるよう、保健師、看護師、医療ソーシャルワーカーを配置しており、それぞれの専門性を生かし、院内外の関係者と連携いたします。

入院の予定がある方は、入院支援コーナーで、入院の目的、日常生活状況や入院までの経過を伺い、入院時に準備するものや入院生活についての説明をさせていただきます。

入院中は、担当の保健師、看護師や医療ソーシャルワーカーが主治医や関係多職種との情報共有を受けて、病棟やベッドサイドで、医療費に関すること退院後の医療や福祉サービスの利用、介護の継続事項などの相談をさせていただきます。

ご来院いただく場合は、窓口8番の医療支援センター患者相談窓口です。
がん相談支援センターの役割も担っております。お気軽にご相談ください。

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目

旭川赤十字病院 ⑧医療支援センター 患者相談窓口

(二条通り側 玄関横)

TEL : 0166-22-8111

FAX : 0166-22-8287

入院支援コーナー (内線1147)

退院支援係 (内線1185)

相談支援係 (内線3120)

療養支援係 (内線3121)

地域医療連携室

地域医療連携室は、平成11年10月に医事課内に設置され、平成23年4月1日より「医療支援センター」の1部署となりました。入退院支援室、訪問看護ステーションは患者様やそのご家族と関わることが多いのに対し、地域医療連携室は地域の医療機関と関わるが多い部署と言えます。

地域医療連携室では、地域の医療機関からの診療予約、CT・MRI等医療機器の共同利用、開放病床などの窓口を担っております。また、たいせつ安心 i 医療ネットの運用管理を行っており、旭川市内及び市外の医療機関とのIT医療情報連携も行っております。さらに、地域医療支援病院として、地域住民の皆さまを対象とした教育講座や地域の医療機関を対象とした研修会、講演会等を開催しております。

このように、地域医療連携室では当院が地域医療支援病院の役割を果たすべく、かかりつけ医である開業医の皆様、地域の医療機関、福祉関連事業所のご担当者様と連携を図り、急性期医療を中心に質の高い医療を提供し、地域医療に貢献するべく、その対応窓口としての業務を行っております。

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目

⑧ 旭川赤十字病院 医療支援センター
(二条通り側 玄関横)

地域医療連携室

TEL : 0166-22-8111 (内線1188・1189)

FAX : 0166-22-8287

旭川赤十字訪問看護ステーション

訪問看護ステーションは、平成6年12月に、日本赤十字社北海道支部が、旭川赤十字病院の付帯事業として設置しました。

旭川赤十字訪問看護ステーションは、旭川赤十字病院をはじめ、地域のクリニックや病院の先生から指示を受けて、利用者様のご家庭を訪問させていただいております旭川赤十字訪問看護ステーションは、旭川赤十字病院をはじめ、地域のクリニックや病院の先生から指示を受けて、利用者様のご家庭を訪問させていただいております。症状や療養生活を看護の専門家の目で見守り、適切な判断に基づいたケアを、24時間365日、在宅で療養生活を送れるように支援させていただいております。常に、医師や関係機関と連携をとり、在宅ケアの充実を図ります。

医療支援センターの一部署として、院内の情報交換がスムーズで、より迅速な対応ができます。

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目旭川赤十字病院内
医療支援センター

旭川赤十字訪問看護ステーション

TEL 0166-22-7218 (直通)

FAX 0166-22-3375

メール houmonkango@asahikawa-rch.gr.jp



2024年7月1日より、旭川赤十字病院の【公式】InstagramとX（旧Twitter）を開設いたしました。地域の皆様に当院のことを広く知っていただきたく、赤十字活動、院内行事、お知らせ等を不定期に発信していきます。ぜひフォローしてください。

<Instagram> https://www.instagram.com/red_cross_asahikawa/
<X> https://x.com/asahikawa_rch

〒070-8530

北海道旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院

【発行部署】 地域医療連携室

TEL（代表） 0166-22-8111

TEL（直通） 0166-22-8133

FAX（直通） 0166-22-8287